

# 平成26年3月期 決算説明会



2014年 5月13日

株式会社 小森コーポレーション

## 1. 社長挨拶 (P2～14)

代表取締役会長 兼 社長 小森 善治

## 2. 平成26年3月期の業績および次期計画 (P18～51)

管理本部 副本部長 朝倉 祐治

## 3. 第Ⅳ期中期経営計画 概要 (P54～72)

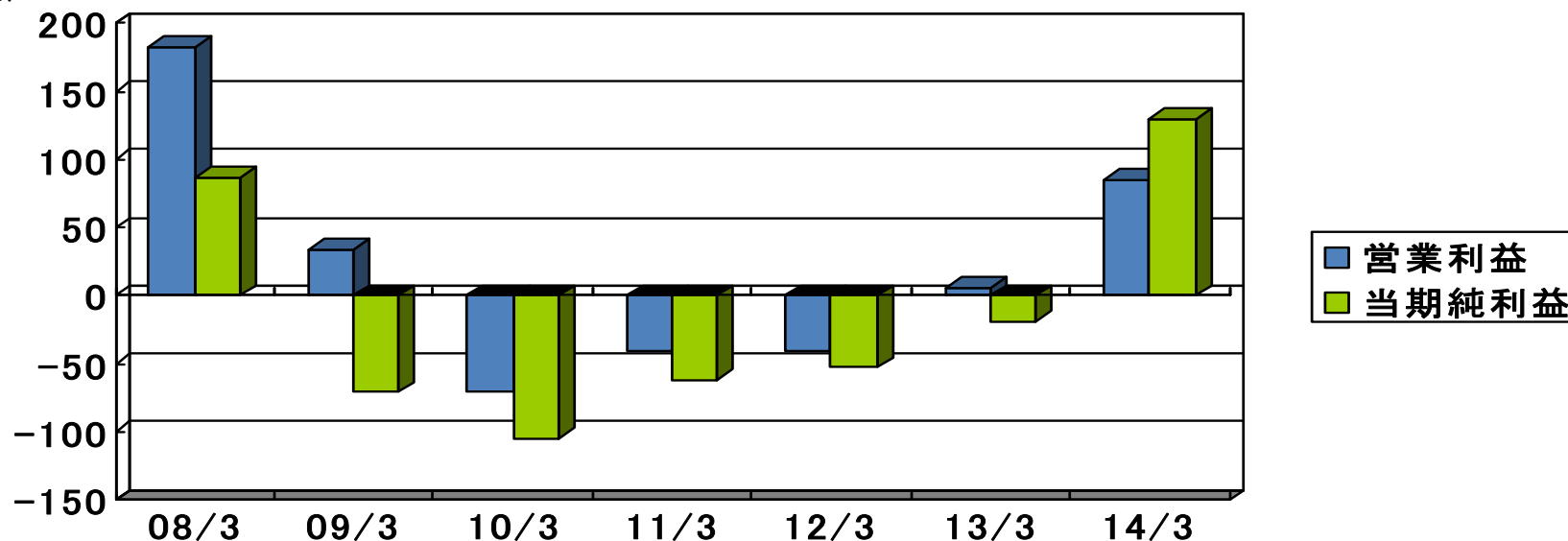
代表取締役副社長 持田 訓

# 完全黒字化へ復帰

前期比

● 受注高	963億円、	+30%
● 売上高	918億円、	+32%
● 営業利益	85億円	
● 経常利益	101億円	
● 当期純利益	137億円	

(億円)



## 黒字化復帰の要因

- ① 超円高の是正
- ② コスト削減努力
- ③ 高付加価値製品の拡販
  - GL40シリーズ
  - LA37シリーズ
  - 速乾印刷システムH-UV

## 黒字化に向けた対策

① コスト競争力の強化

② 「KOMORI OnDemand」提案による拡販

③ 新規事業の推進

④ 営業の業態変革の推進

## ①コスト競争力の強化

### ■モノづくり革新活動の展開

- 「多品種変量生産」
- 製造コスト削減
- 生産リードタイム短縮

## ①コスト競争力の強化

### ■ 小森机械(中国江蘇省南通市) 生産開始

3工場体制 つくばプラント(茨城)、小森マシナリー(山形)、  
小森机械(中国)による効率化・コストダウンの強化



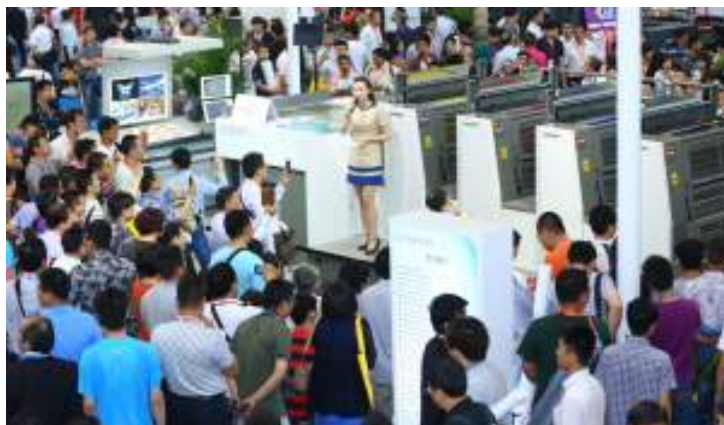
小森机械工場 概観



開業式 2014年4月

## ② 「KOMORI OnDemand」提案による拡販

オフセットオンデマンドとデジタルオンデマンドの融合による、  
新たなビジネスソリューションを展示会で提案



China Print 2013 (中国)



PRINT 2013 (米国)



JGAS 2013 (日本)



## ② 「KOMORI OnDemand」提案による拡販

### ■ 成長市場・分野に絞った新製品の開発

中国・インド・東南アジア市場 向け



LITHRONE A37P

WEB to PRINT 向け



SYSTEM 38S + HUV

パッケージ市場 向け



LITHRONE GX40RP

### ③ 新規事業の推進

#### ■ 証券印刷機事業の海外市場への展開

- ・ インドネシア、ペルンペルリ社より証券印刷機設備一式受注
- ・ 英国、デ・ラ・ルー社開所式で、世界各国の中央銀行関係者にアピール



ペルンペルリ社との調印式



デ・ラ・ルー社 開所式

### ③ 新規事業の推進

#### ■ デジタル印刷機事業の展開

- ・ インクジェット印刷機「インプレミアIS29」の展示会出展

⇒印刷品質、性能、生産性の高さをアピール



インプレミアIS29



PRINT2013での実演

### ③ 新規事業の推進

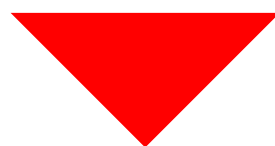
#### ■ PE(プリントド・エレクトロニクス)事業の展開

- ・ 台湾工業技術研究院(ITRI)と  
高精細線幅のタッチパネル共同開発に成功  
⇒ 量産化を目指し、量産化技術の確立に注力
  
- ・ 東海ホールディングスの買収  
⇒ 技術の融合、販売チャネルの活用により、  
PE事業の拡大を目指す

## ④ 営業の業態変革

PRINT ENGINEERING SERVICE PROVIDER  
(PESP事業の推進)

お客様の課題解決のため、  
トータルなソリューションを提案



営業とサービス部門間の連携を強化しながら、印刷機械の周辺  
装置・資材・サービス等、取り扱い製品・サービスの領域を拡大

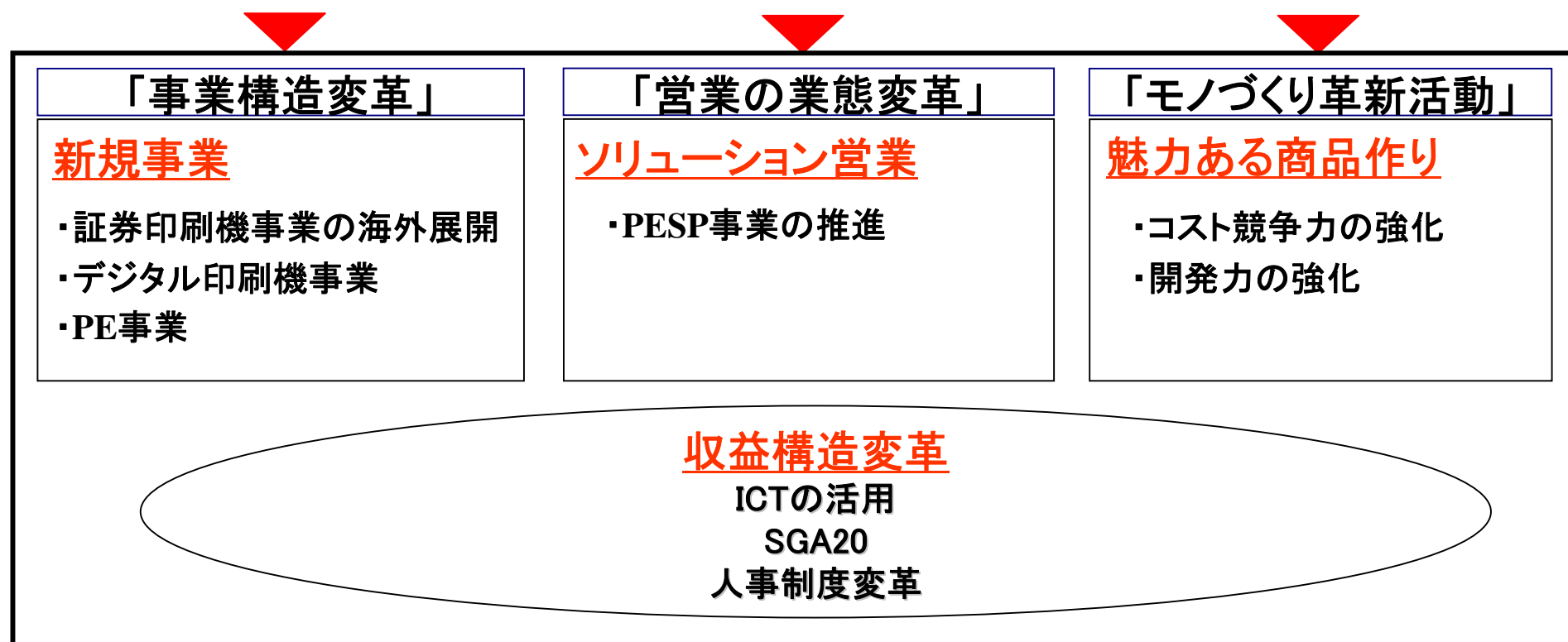
## 経済産業省の 「グローバルニッチトップ企業100選」に選定

⇒ 国際市場の開拓に取り組んでいる企業で、ニッチ分野で高いシェアを持ち、良好な企業経営であること

(当社の評価ポイント)

- ①世界に先駆けた製品開発により、世界のオフセット印刷機市場で高いシェアを確保していること
- ②国内唯一の紙幣印刷機械メーカーとして、世界十数ヶ国へ輸出していること

## 第Ⅳ期中期経営計画 “Planned Change” (2013/04～2016/03)



新たな顧客感動を伴ったビジネスモデルを構築することで  
企業価値の向上を図る / 創業90周年の「再創業」

**KOMORI**  
KOMORI CORPORATION



## 平成26年3月期業績および次期計画



2014年 5月13日

株式会社 小森コーポレーション

## 目次

P.18~21	決算概要 P/L・B/S
P.22~25	地域別・品目別 受注高
P.26~29	地域別・品目別 売上高
P.30	受注残高の推移
P.31	製品在庫の推移
P.32~33	営業損益の変動要因
P.35~40	業績見通し
P.41	設備投資・減価償却費・開発費
P.42~51	地域別 受注高・売上高 詳細

## 決算概要 P/L

(単位:億円)

		当期実績 2014/3	前期実績 2013/3	差額	前期比	通期計画 2014/3	差額	計画比
受注高		963	742	222	130%	925	38	104%
売上高		918	698	220	132%	900	18	102%
営業利益		85	6	79	-	75	10	113%
経常利益		101	18	83	573%	90	11	112%
当期純利益		137	△19	156	-	85	52	161%
平均レート (円)	US\$	100.00	83.23	/	/	99.40	/	/
	EUR	134.01	107.57			133.95		
期末レート (円)	US\$	102.92	94.05			100.00		
	EUR	141.65	120.73			140.00		

# 主な資産・負債

KOMORI

(単位:億円)

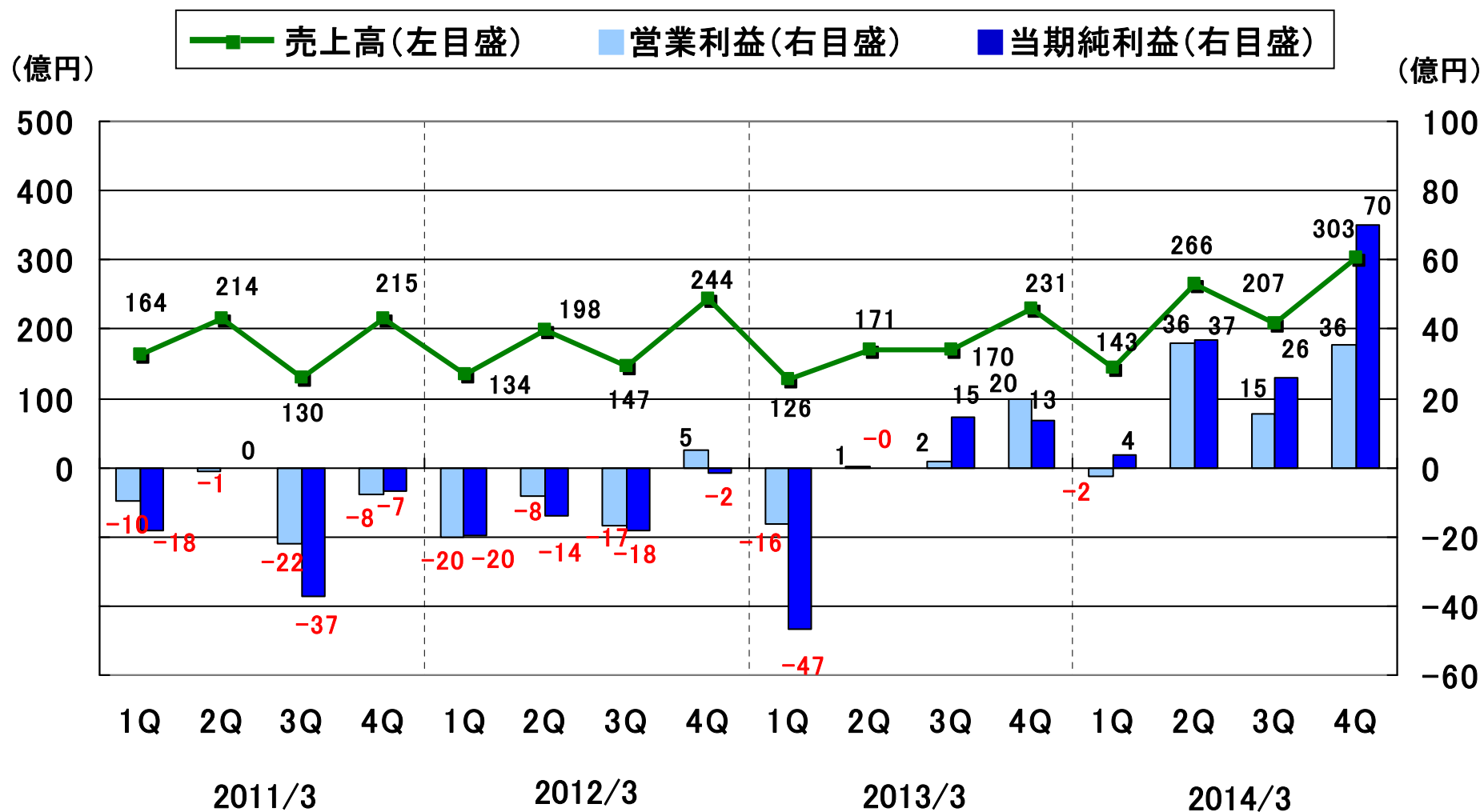
	当期末 2014.3.31	前期末 2013.3.31	差額
現金・預金	440	393	46
売上債権	247	221	26
有価証券	220	47	173
棚卸資産	259	254	5
うち製品	109	113	△4
有形固定資産	320	326	△5
無形固定資産	23	26	△3
仕入債務	179	140	39
短期借入金	16	15	1
社債	100	-	100
長期借入金	-	4	△4
株主資本	1,259	1,128	130
総資産	1,724	1,440	285

## キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	当期 2014/3	前期 2013/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	134	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71	28
財務活動によるキャッシュ・フロー	88	△77
現金及び現金同等物の期末残高	544	381

# 売上高・営業利益・当期純利益



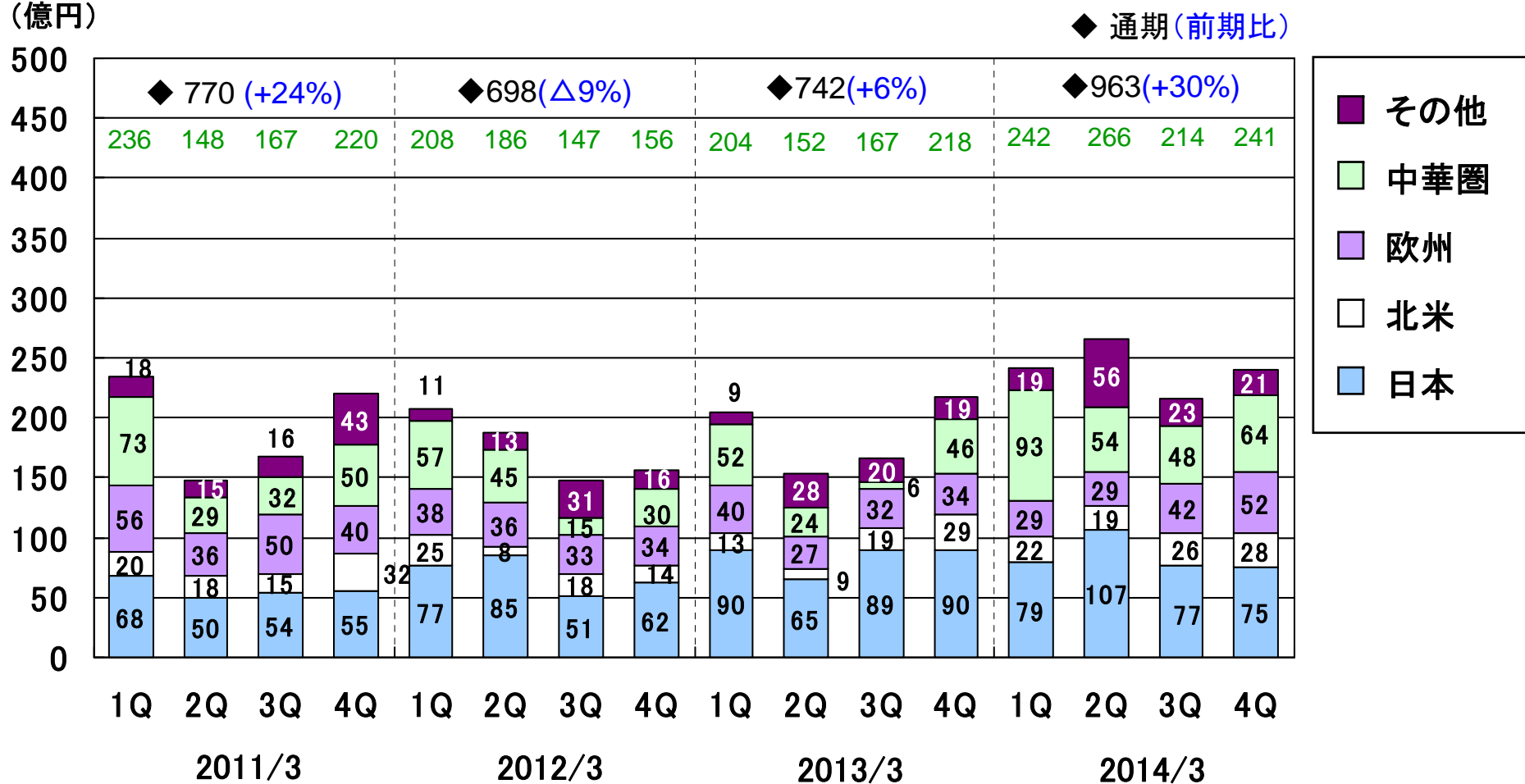
## 地域別受注高

(単位:億円)

		当期実績 2014/3	前期実績 2013/3	前期比	通期計画 2014/3	計画比
日本		338	334	101%	325	104%
北米		95	70	137%	90	106%
	(百万ドル)	(95)	(84)	(114%)	(91)	(105%)
欧州		152	133	114%	146	104%
	(百万ユーロ)	(113)	(124)	(91%)	(109)	(104%)
中華圏		260	128	203%	230	113%
	中国本土	211	109	194%	184	115%
	香港	27	10	259%	30	90%
	台湾	22	9	253%	17	130%
その他地域		119	76	155%	133	89%
合計		963	742	130%	925	104%

# 地域別受注高

(億円)



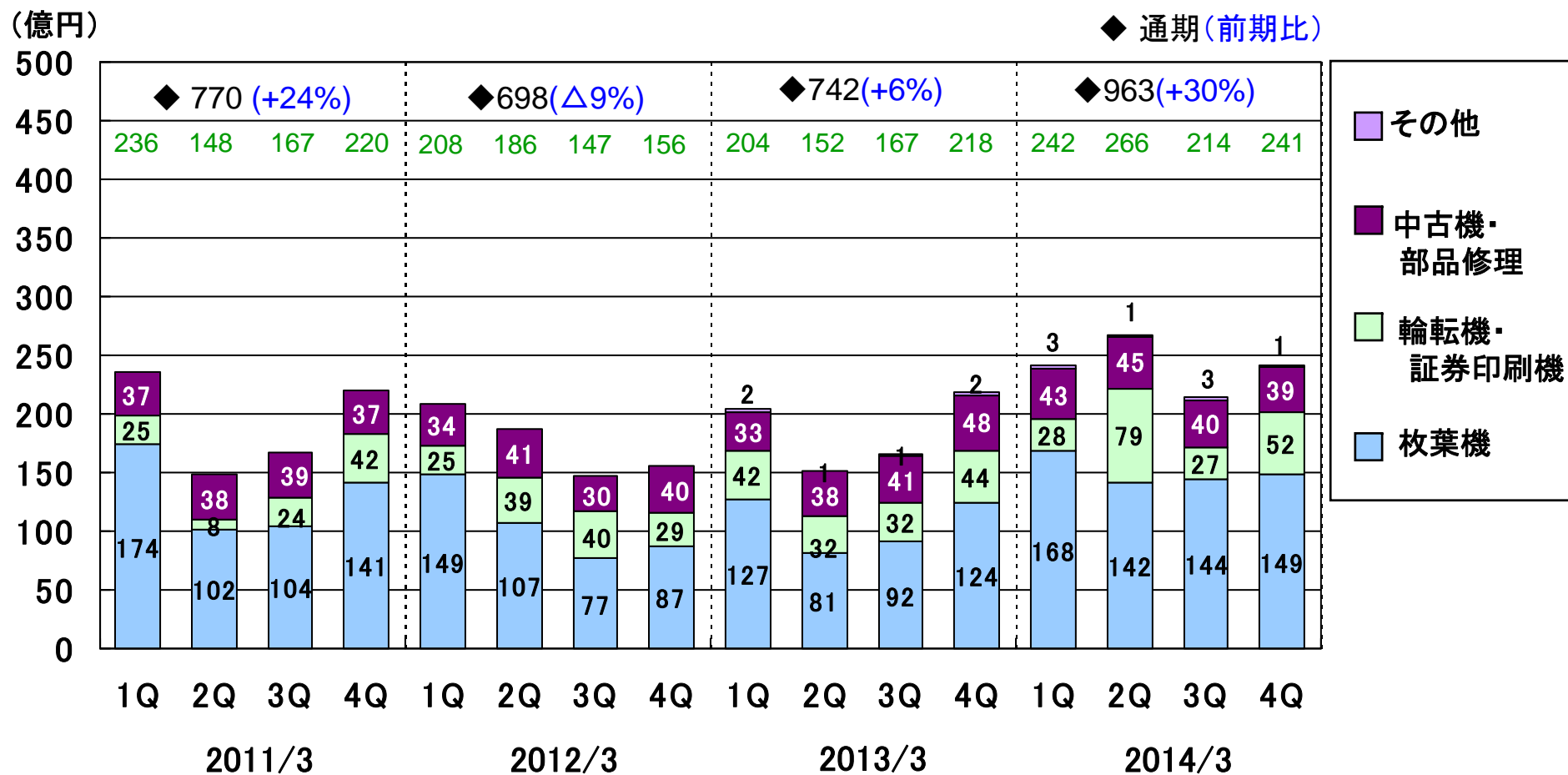


## 品目別受注高

(単位:億円)

	当期実績 2014/3	前期実績 2013/3	前期比	通期計画 2014/3	計画比
枚葉機	602	425	142%	555	108%
うち国内	140	162	86%	138	101%
輪転機・証券印刷機	186	150	124%	196	95%
うち国内	113	84	134%	102	111%
中古機・部品修理	167	160	105%	166	101%
うち国内	81	83	98%	82	99%
その他	8	6	123%	8	97%
うち国内	4	5	76%	4	103%
合計	963	742	130%	925	104%

# 品目別受注高

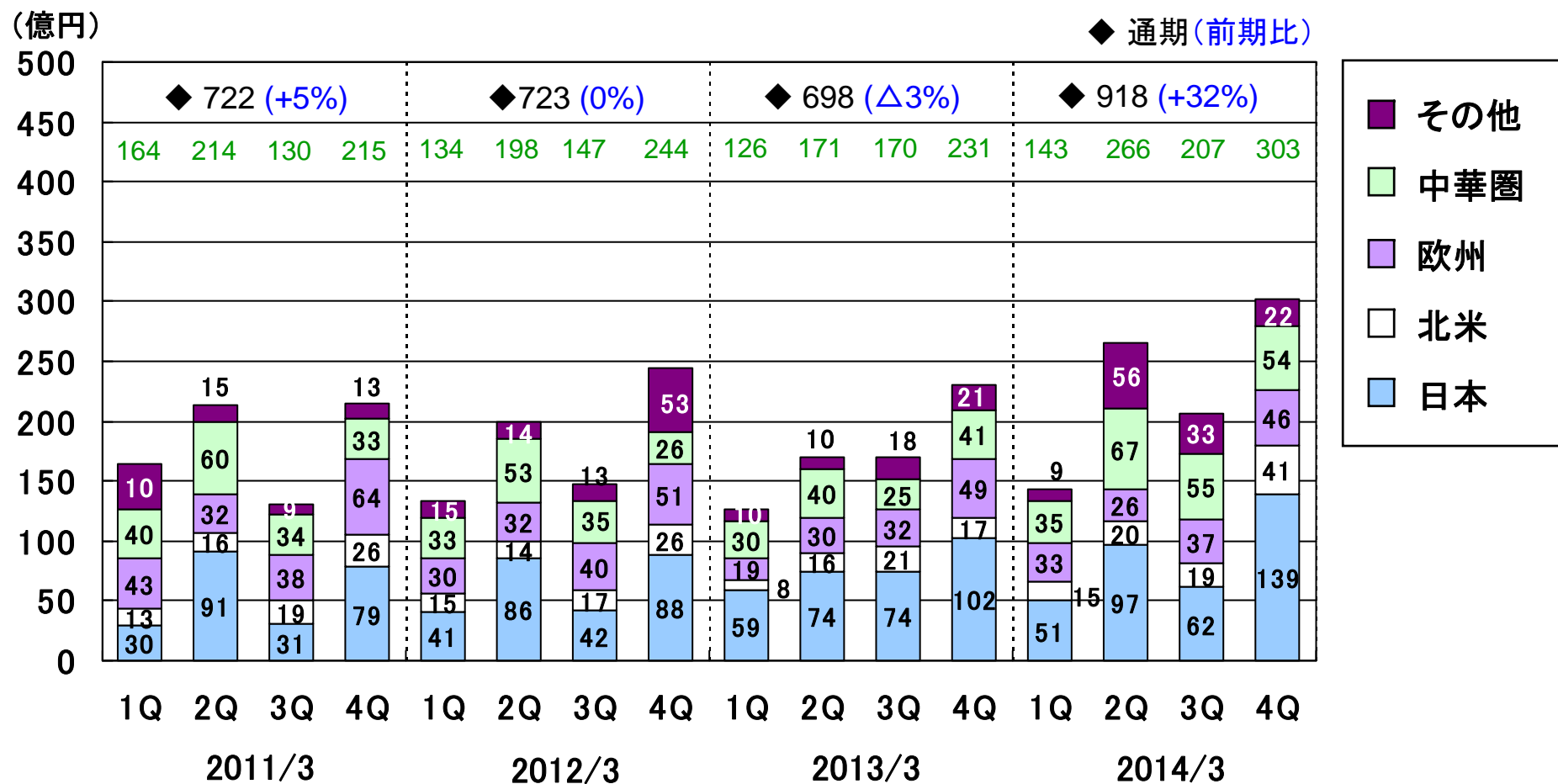


# 地域別売上高

(単位:億円)

		当期実績 2014/3	前期実績 2013/3	前期比	2014/3 通期計画	計画比
日本		349	310	113%	348	100%
北米		95	63	150%	95	100%
	(百万ドル)	(96)	(76)	(126%)	(96)	(100%)
欧州		143	130	110%	140	102%
	(百万ユーロ)	(107)	(121)	(88%)	(105)	(102%)
中華圏		211	136	155%	198	106%
	中国本土	171	110	156%	157	109%
	香港	25	22	113%	26	95%
	台湾	15	4	401%	15	104%
その他地域		120	59	203%	118	102%
合計		918	698	132%	900	102%

# 地域別売上高

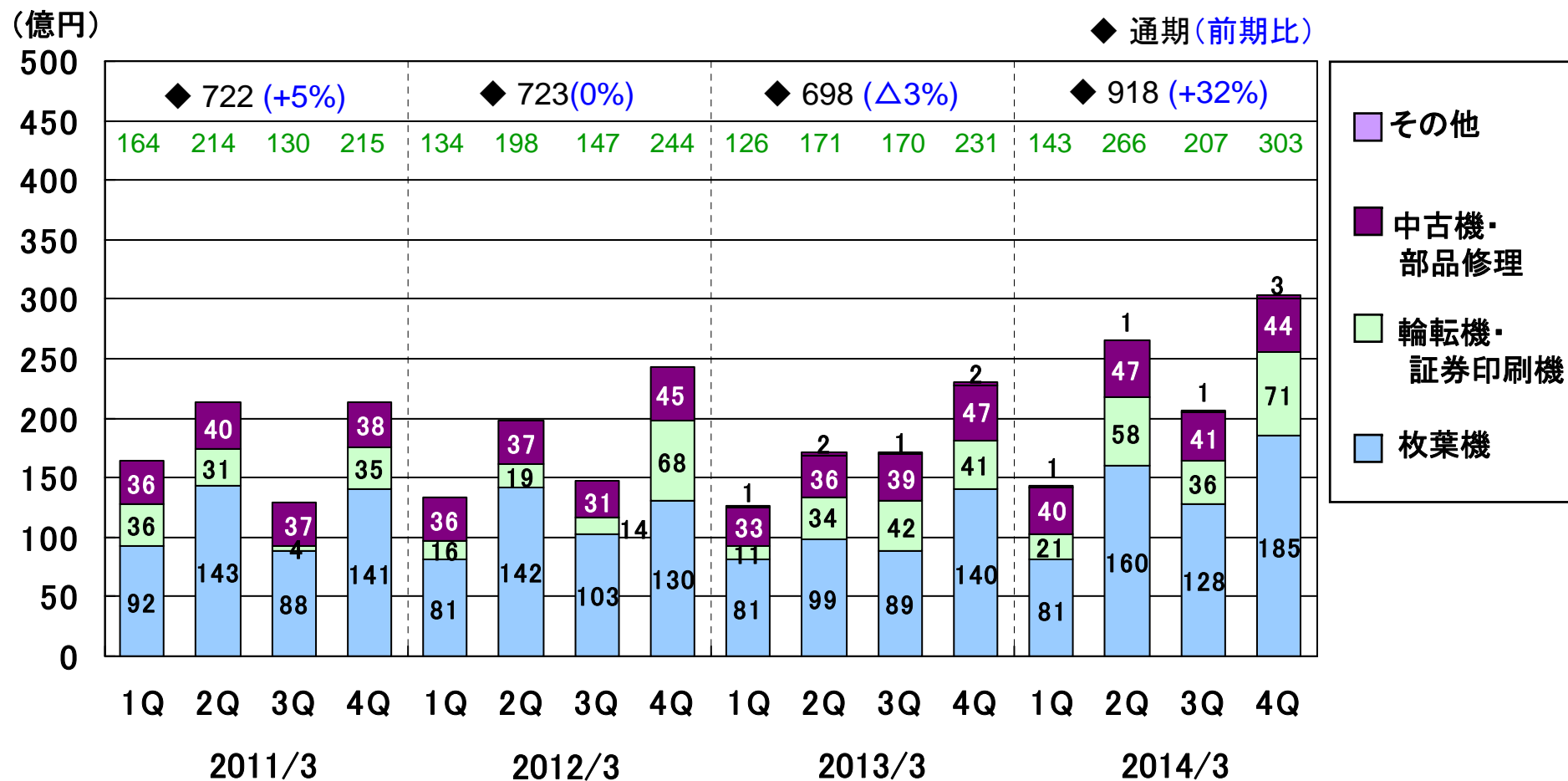


## 品目別売上高

(単位:億円)

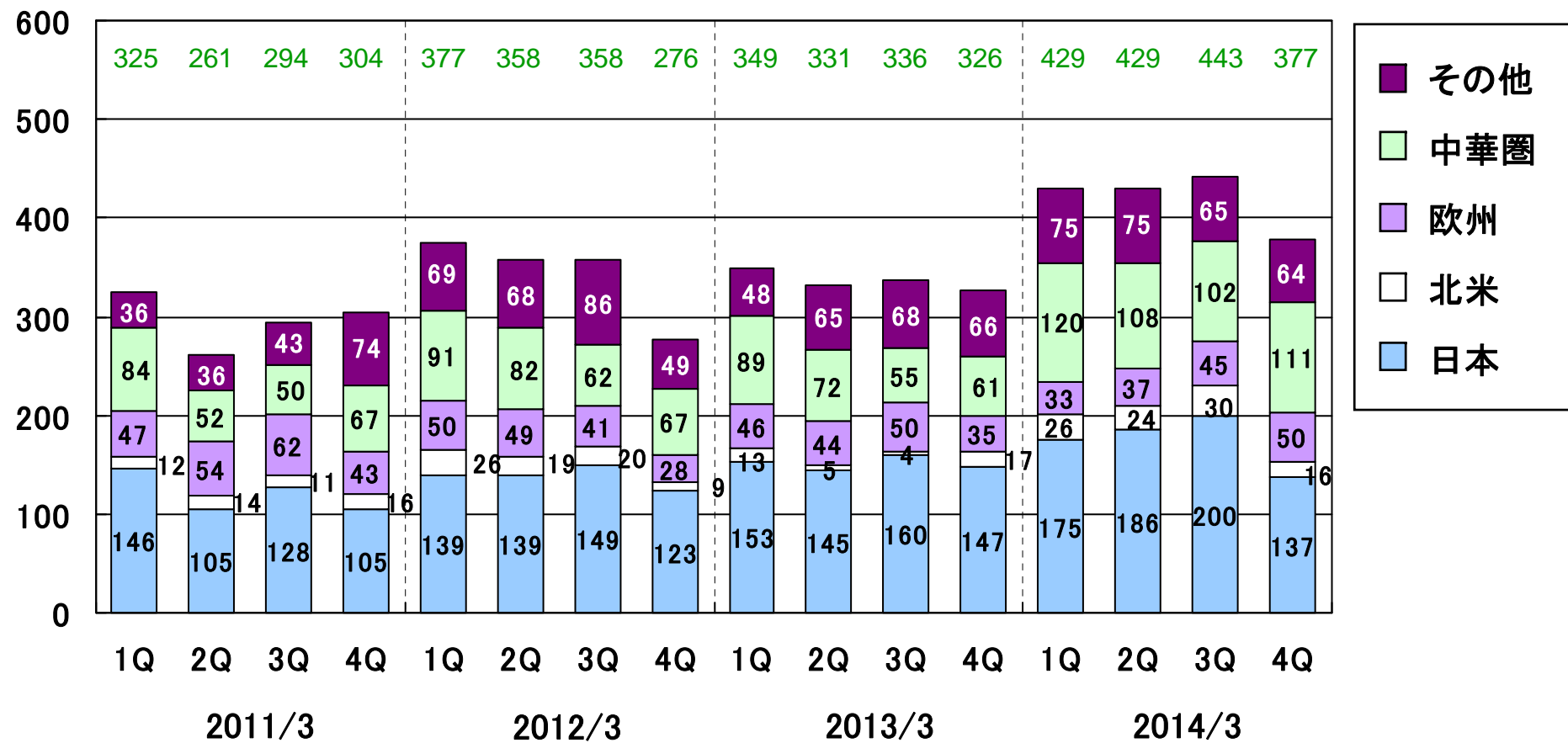
	当期実績 2014/3	前期実績 2013/3	前期比	通期計画 2014/3	計画比
枚葉機	554	409	135%	539	103%
うち国内	173	142	122%	174	100%
輪転機・証券印刷機	186	129	145%	190	98%
うち国内	89	83	108%	94	95%
中古機・部品修理	172	155	111%	164	104%
うち国内	84	80	106%	79	107%
その他	6	6	117%	6	100%
うち国内	3	5	52%	2	158%
合計	918	698	132%	900	102%

# 品目別売上高



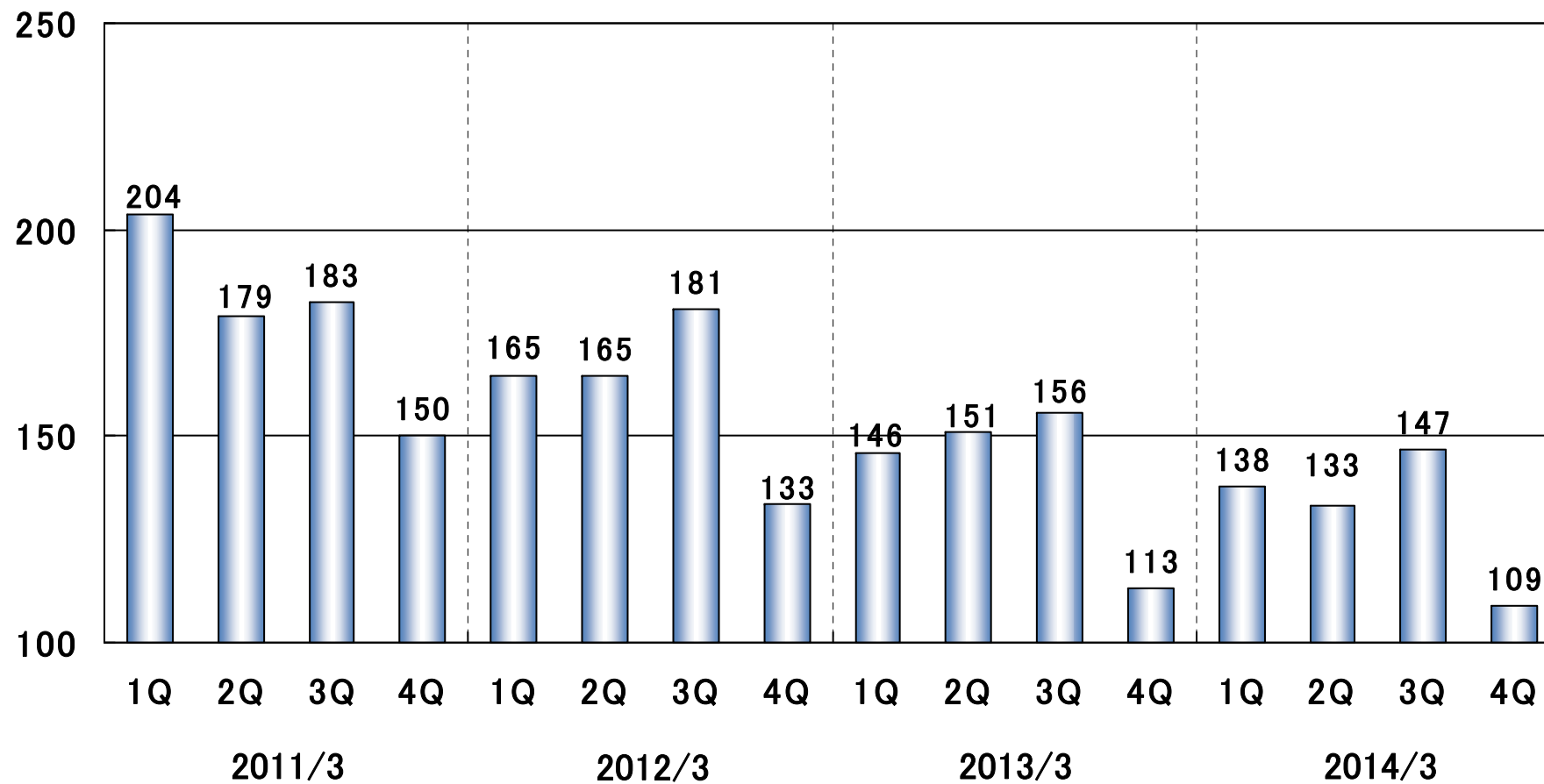
# 受注残高の推移

(億円)



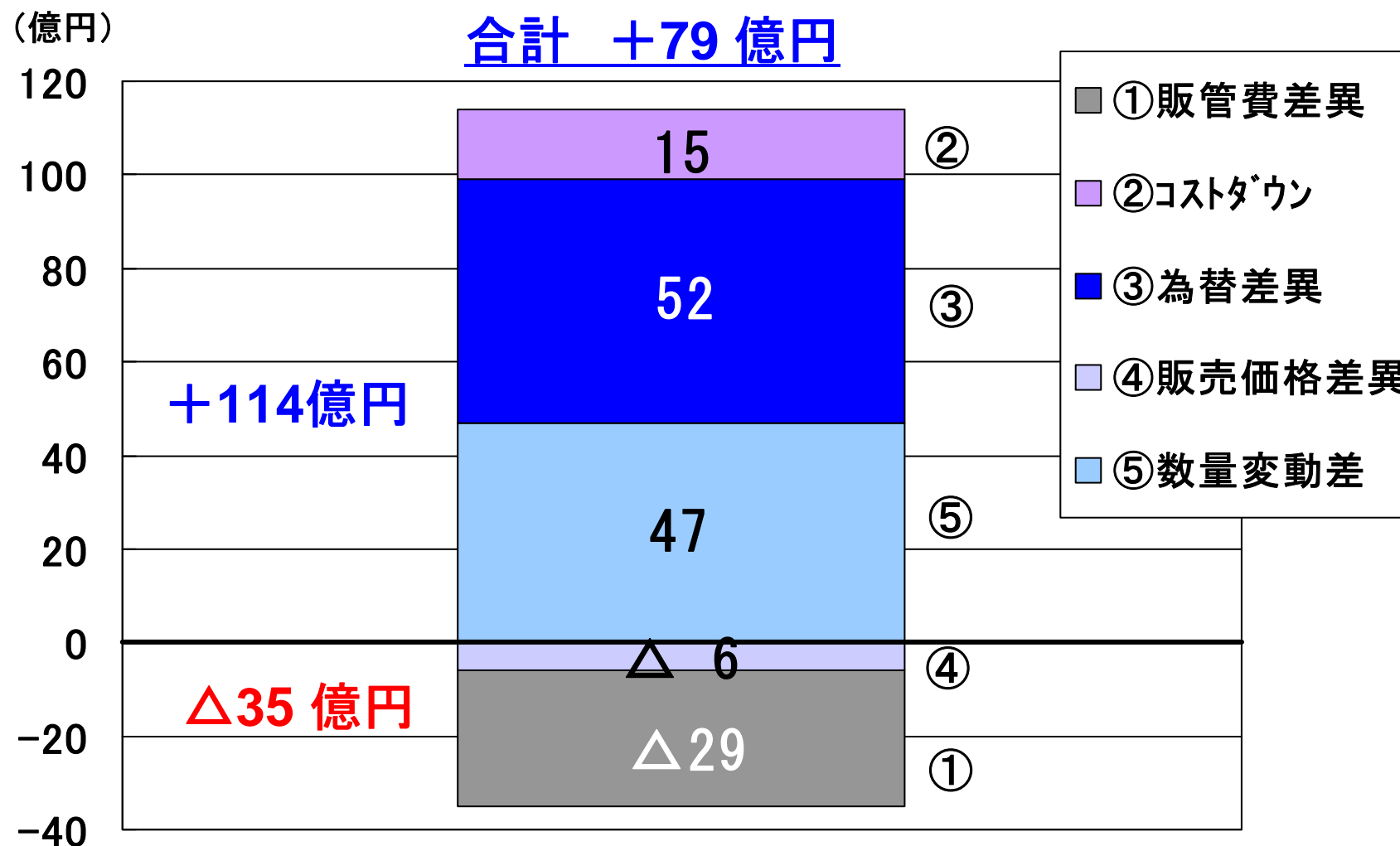
## 製品在庫の推移(原価ベース)

(億円)

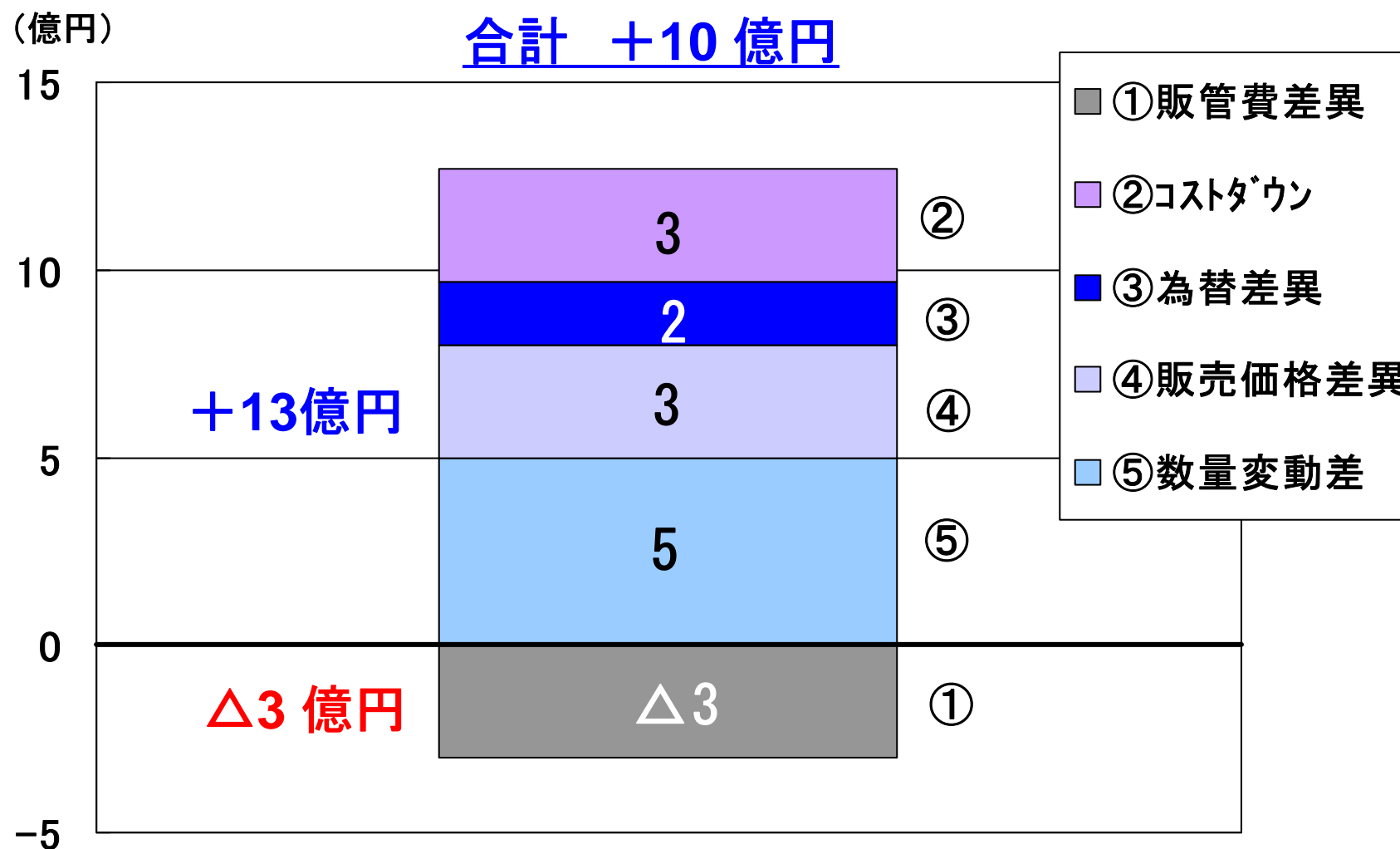




## 営業損益の変動要因(対 前期比)



## 営業損益の変動要因(対 計画比)



## 通期業績見通し

## 業績見通し

(単位:億円)

※当連結業績予想には、「東海ホールディングス株式会社」を子会社化した後の影響額を見込んでおりません

	2015/3 上期		2015/3 下期		通期計画 2015/3	前期実績 2014/3	差額	前期比
	計画	前期比	計画	前期比				
受注高	441	87%	559	123%	1,000	963	37	104%
売上高	417	102%	533	105%	950	918	32	103%
営業利益	25	74%	51	100%	76	85	△9	90%
経常利益	24	57%	52	88%	76	101	△25	75%
当期純利益	24	59%	49	51%	73	137	△64	53%
平均レート (円)	US\$	100.00		100.00		100.00	100.00	
	EUR	135.00		135.00		135.00	134.01	
期末レート (円)	US\$	100.00		100.00		100.00	102.92	
	EUR	135.00		135.00		135.00	141.65	

## 地域別受注高 予想

(単位:億円)

	2015/3 上期		2015/3 下期		通期計画 2015/3	前期実績 2014/3	差額	前期比	
	計画	前期比	計画	前期比					
日本	174	94%	186	122%	360	338	21	106%	
北米	53	128%	81	150%	134	95	39	141%	
	(百万ドル)	(125%)	(81)	(153%)	(134)	(95)	(39)	(141%)	
欧州	60	103%	85	91%	145	152	△7	96%	
	(百万ユーロ)	(99%)	(63)	(92%)	(107)	(113)	(△6)	(95%)	
中華圏	76	51%	110	99%	186	260	△74	72%	
	中国本土	48	39%	84	95%	131	211	△80	62%
	香港	21	127%	19	180%	40	27	13	148%
	台湾	8	89%	8	58%	15	22	△6	70%
その他地域	78	104%	98	225%	176	119	57	148%	
合計	441	87%	559	123%	1,000	963	37	104%	

## 品目別受注高 予想

(単位:億円)

	2015/3 上期		2015/3 下期		通期計画 2015/3	前期実績 2014/3	差額	前期比
	計画	前期比	計画	前期比				
枚葉機	250	81%	342	117%	592	602	△10	98%
うち国内	90	112%	79	133%	169	140	29	121%
輪転機・証券印刷機	93	87%	106	134%	199	186	13	107%
うち国内	35	57%	50	96%	85	113	△28	75%
中古機・部品修理	91	103%	94	119%	185	167	18	111%
うち国内	46	108%	48	124%	94	81	13	116%
その他	7	170%	17	477%	24	8	16	312%
うち国内	3	219%	9	351%	12	4	8	303%
合計	441	87%	559	123%	1,000	963	37	104%

# 地域別売上高 予想

(単位:億円)

	2015/3 上期		2015/3 下期		通期計画 2015/3	前期実績 2014/3	差額	前期比	
	計画	前期比	計画	前期比					
日本	165	112%	200	99%	365	349	16	105%	
北米	48	138%	79	131%	127	95	32	133%	
	(百万ドル)	(48)	(135%)	(79)	(132%)	(127)	(96)	(32)	(133%)
欧州	65	110%	83	99%	148	143	5	104%	
	(百万ユーロ)	(48)	(105%)	(61)	(101%)	(107)	(3)	(103%)	
中華圏	95	93%	94	86%	189	211	△22	90%	
	中国本土	68	81%	66	76%	134	171	△37	78%
	香港	17	153%	20	141%	37	25	12	147%
	台湾	10	164%	9	93%	18	15	3	121%
その他地域	44	67%	77	140%	121	120	1	101%	
合計	417	102%	533	105%	950	918	32	103%	

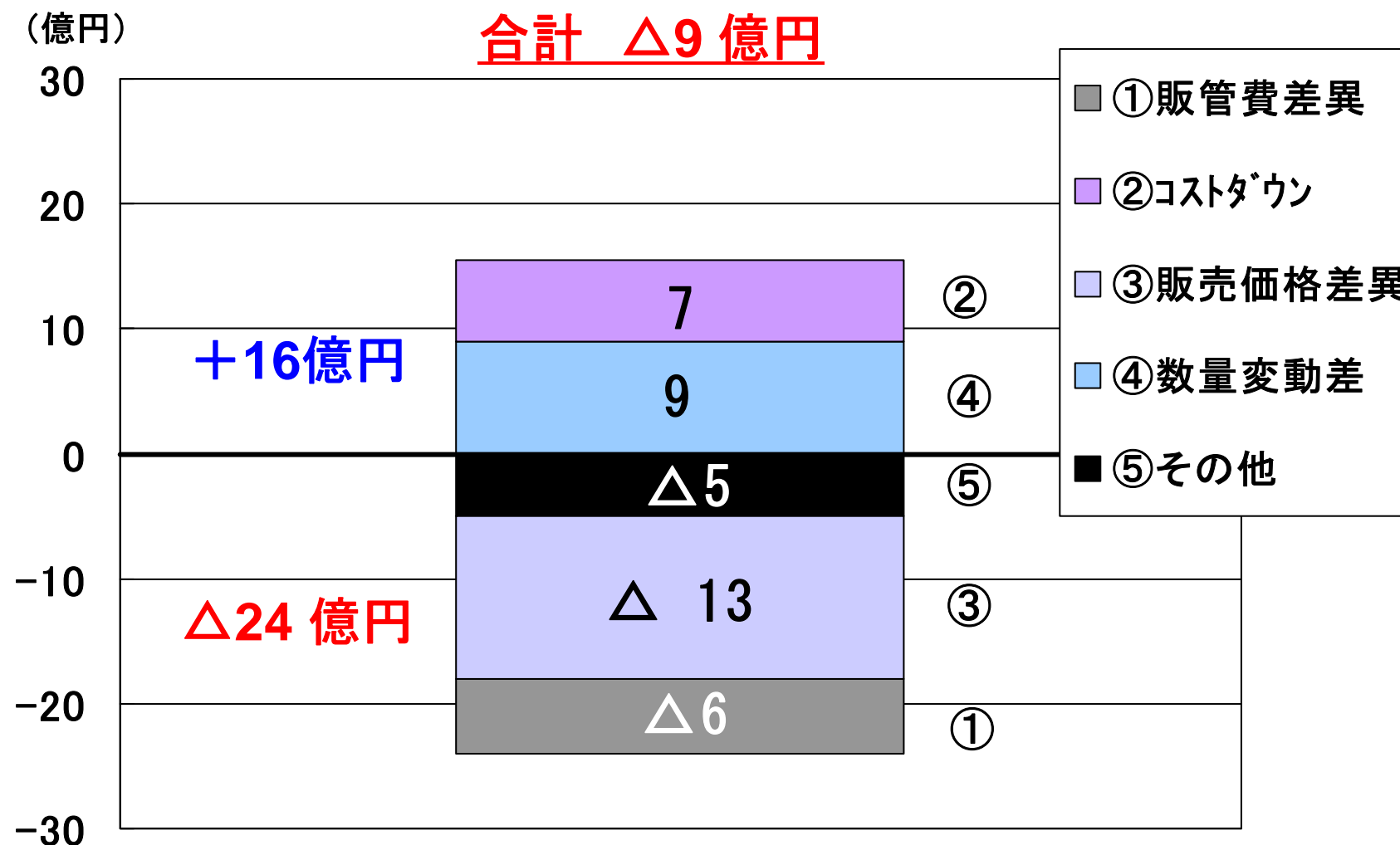
# 品目別売上高 予想

(単位:億円)

	2015/3 上期		2015/3 下期		通期計画 2015/3	前期実績 2014/3	差額	前期比
	計画	前期比	計画	前期比				
枚葉機	271	113%	320	102%	591	554	37	107%
輪転機・証券印刷機	51	65%	113	105%	164	186	△22	88%
中古機・部品修理	89	103%	92	108%	181	172	9	105%
その他	6	249%	8	198%	14	6	8	217%
合計	417	102%	533	105%	950	918	32	103%



## 2015/3月期営業損益(予想)の変動要因(対前期比)

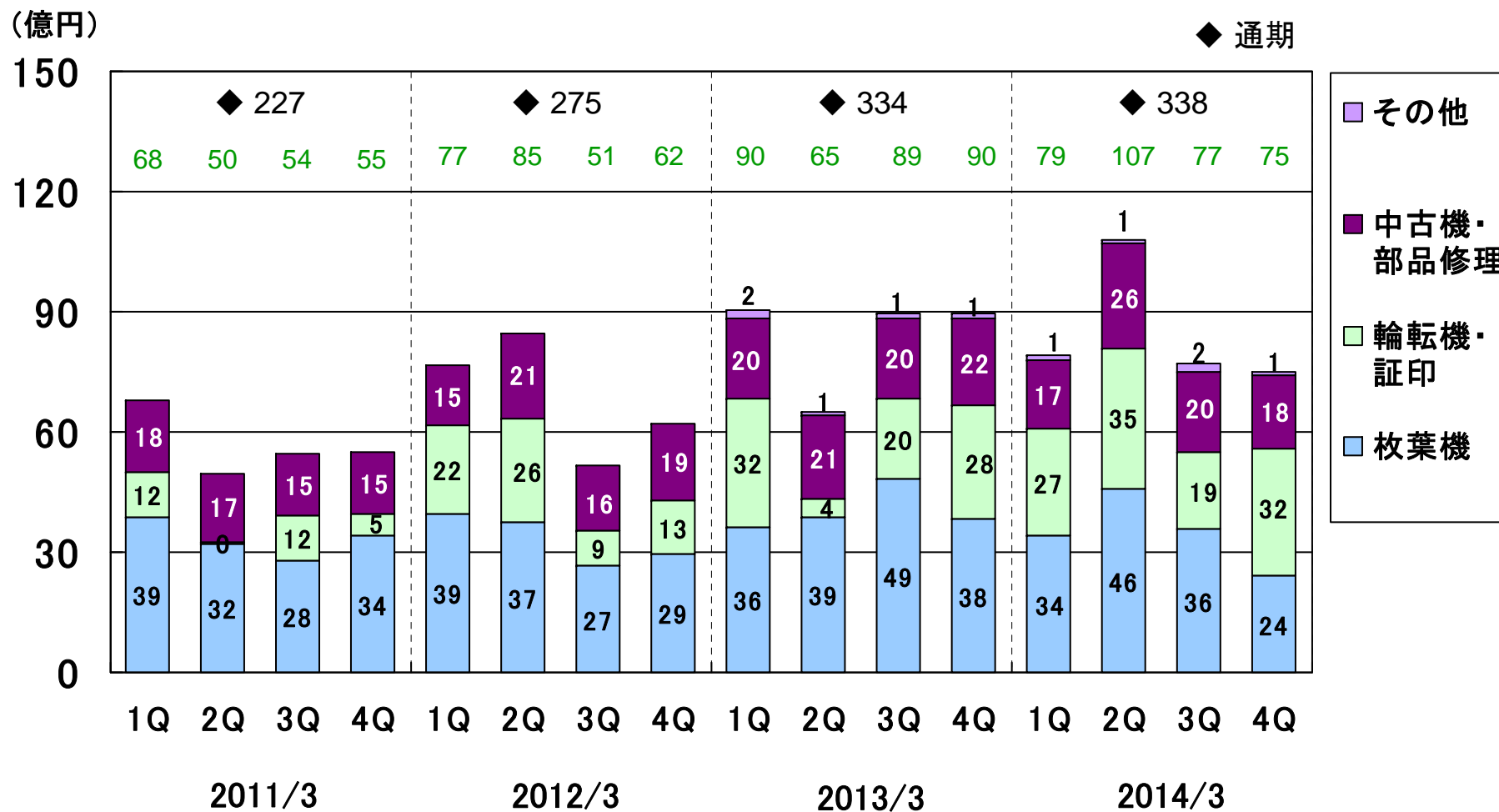


## 設備投資・減価償却費・開発費

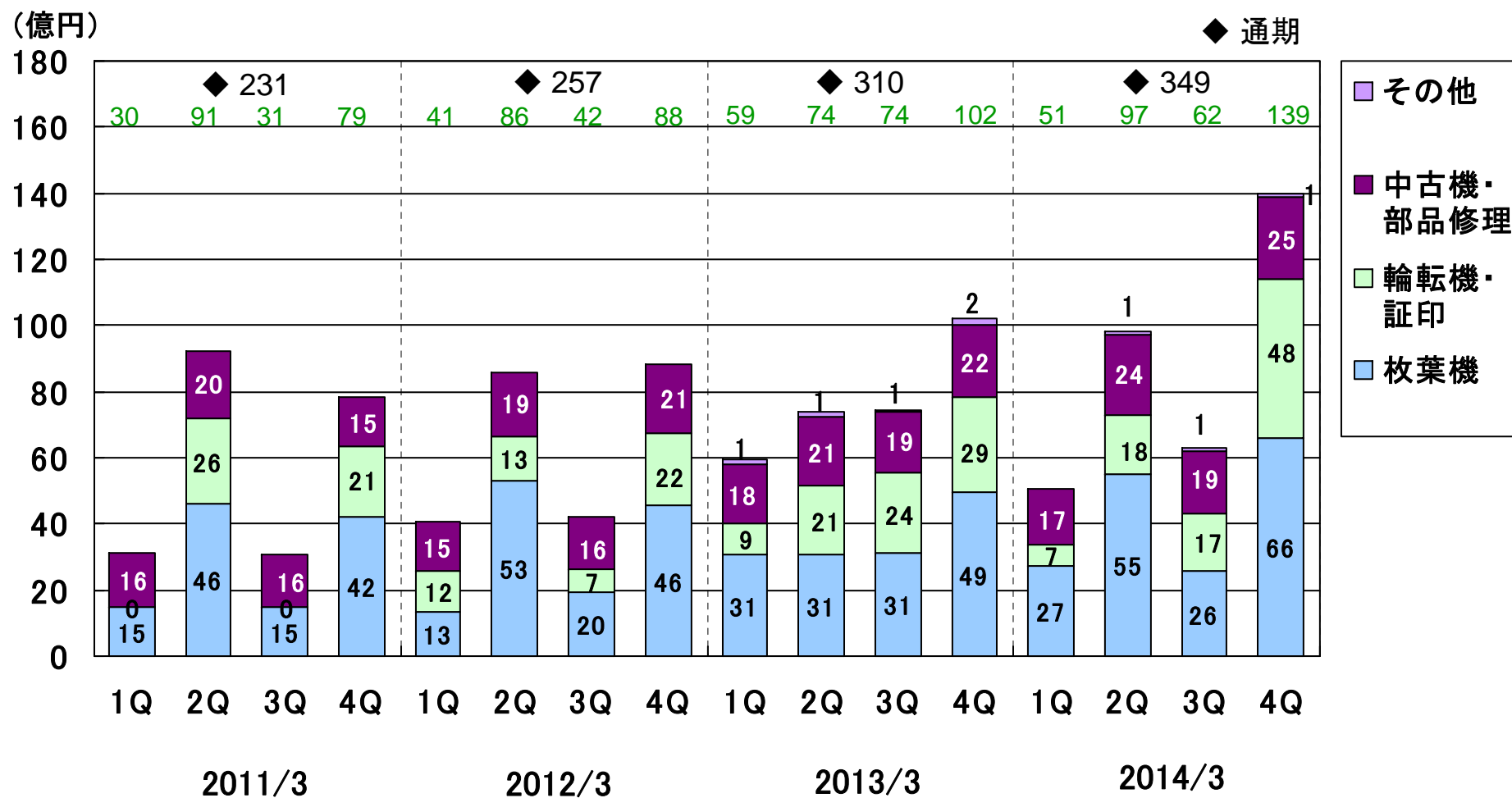
(単位:百万円)

	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3 予想
従業員数(名)	2,190	2,138	2,104	1,814	1,777	1,846
人件費	17,967	16,673	16,757	14,892	16,972	17,318
設備投資額	6,257	1,286	692	1,881	1,367	2,804
減価償却費	2,903	3,083	2,849	2,251	2,172	1,752
研究開発費	4,015	4,320	4,830	3,806	4,184	4,209
(売上高比)	(5.8%)	(6.0%)	(6.7%)	(5.5%)	(4.6%)	(4.4%)

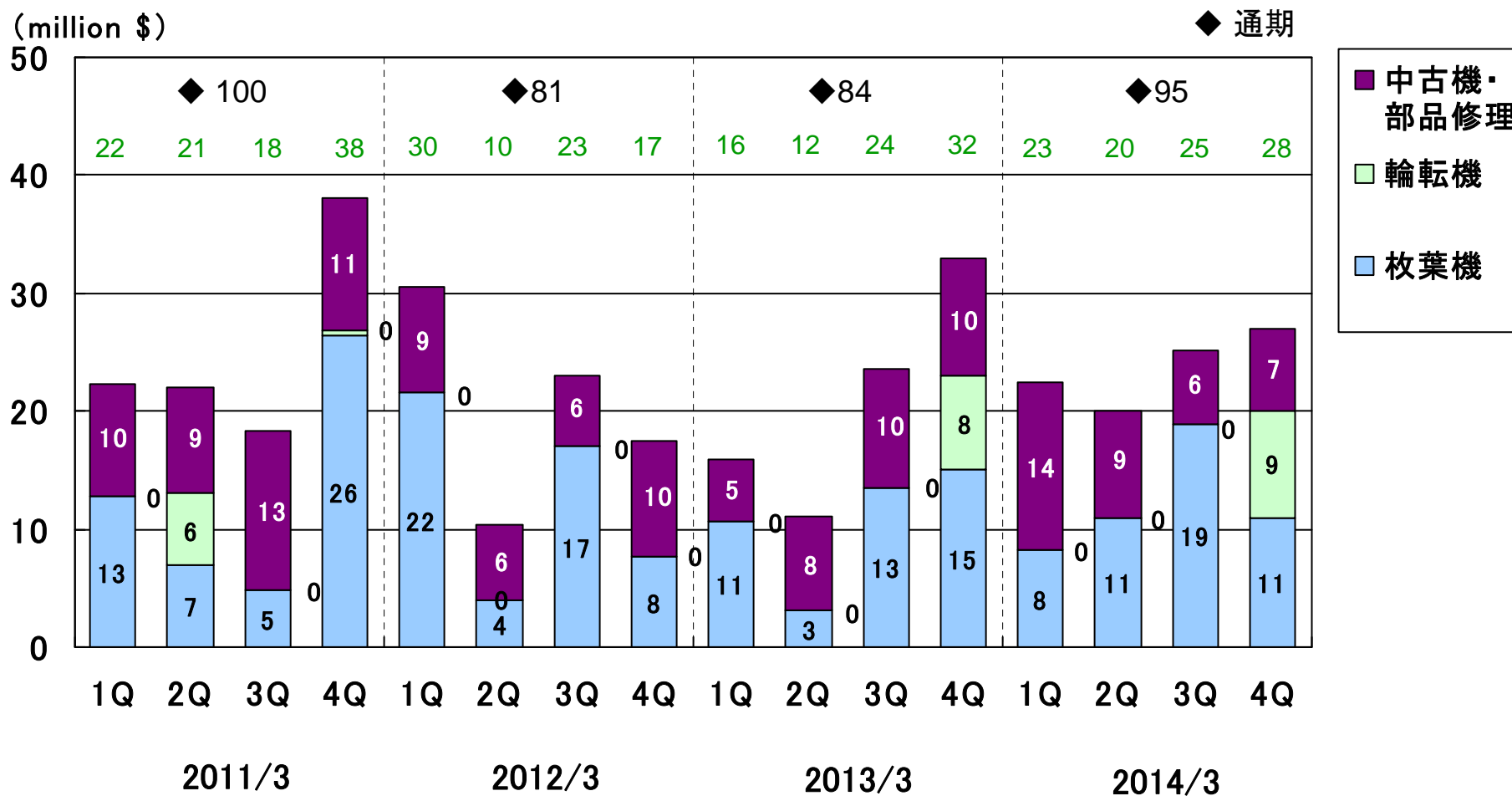
# 日本 受注高



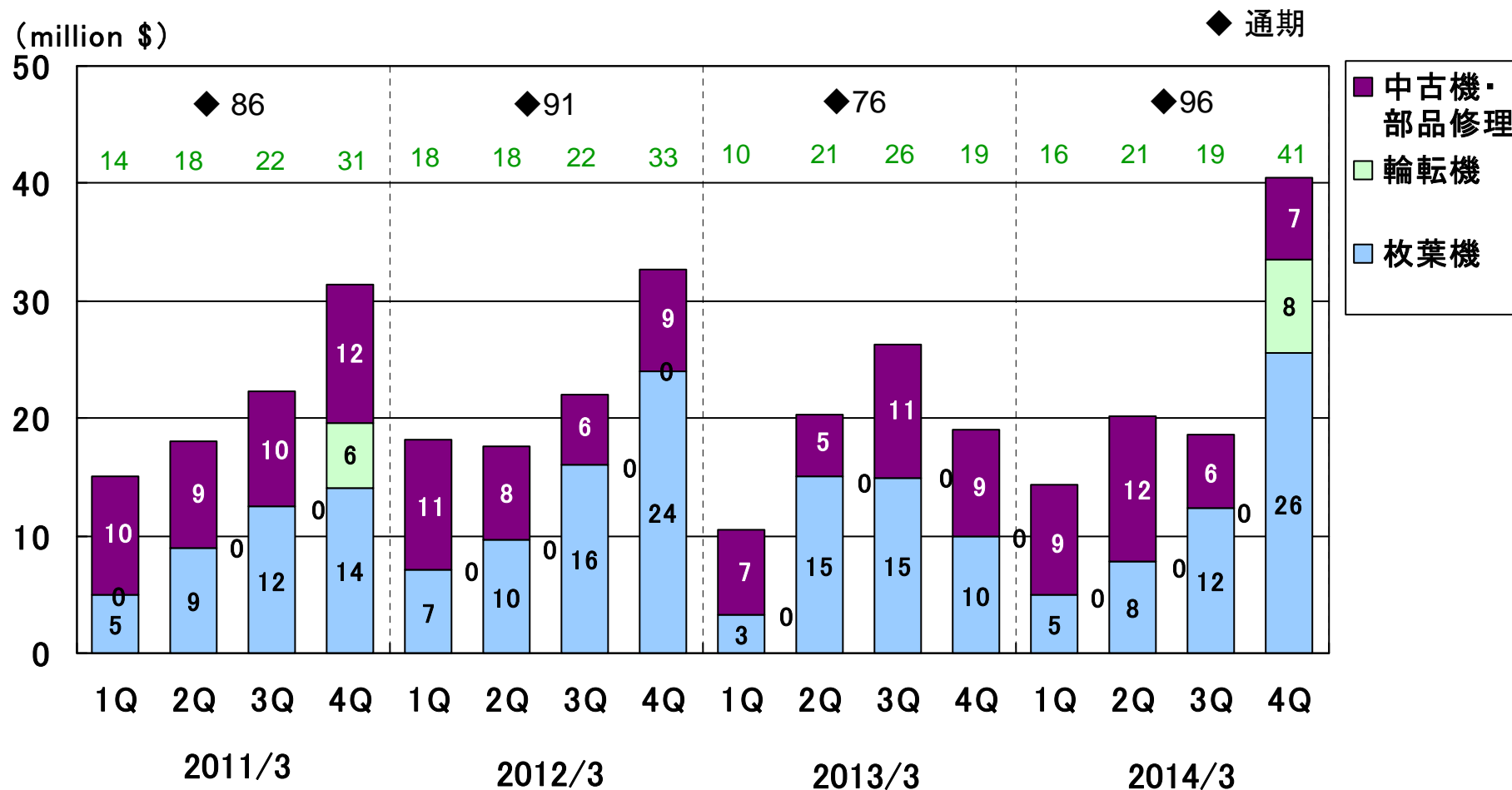
# 日本売上高



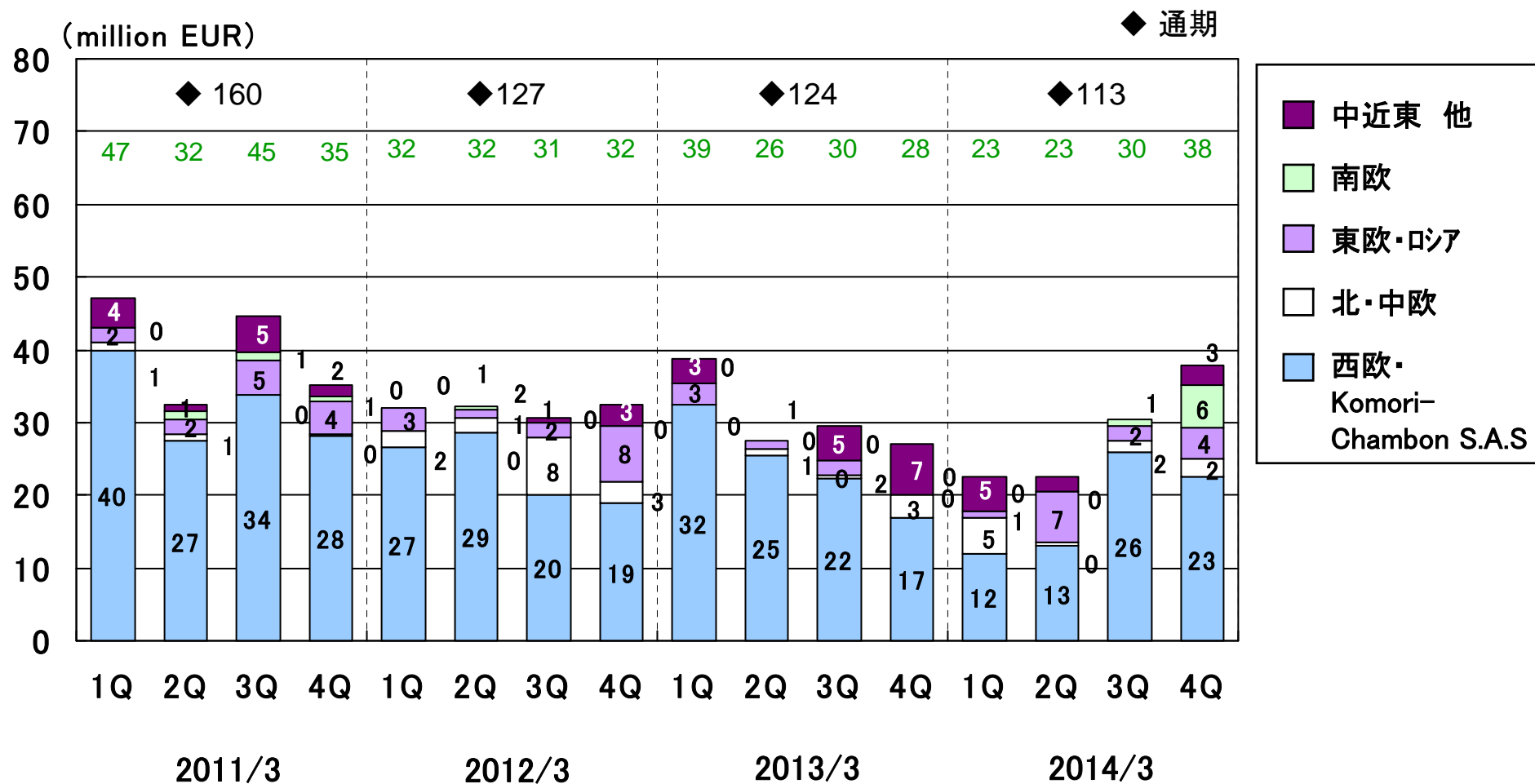
# 北米 受注高



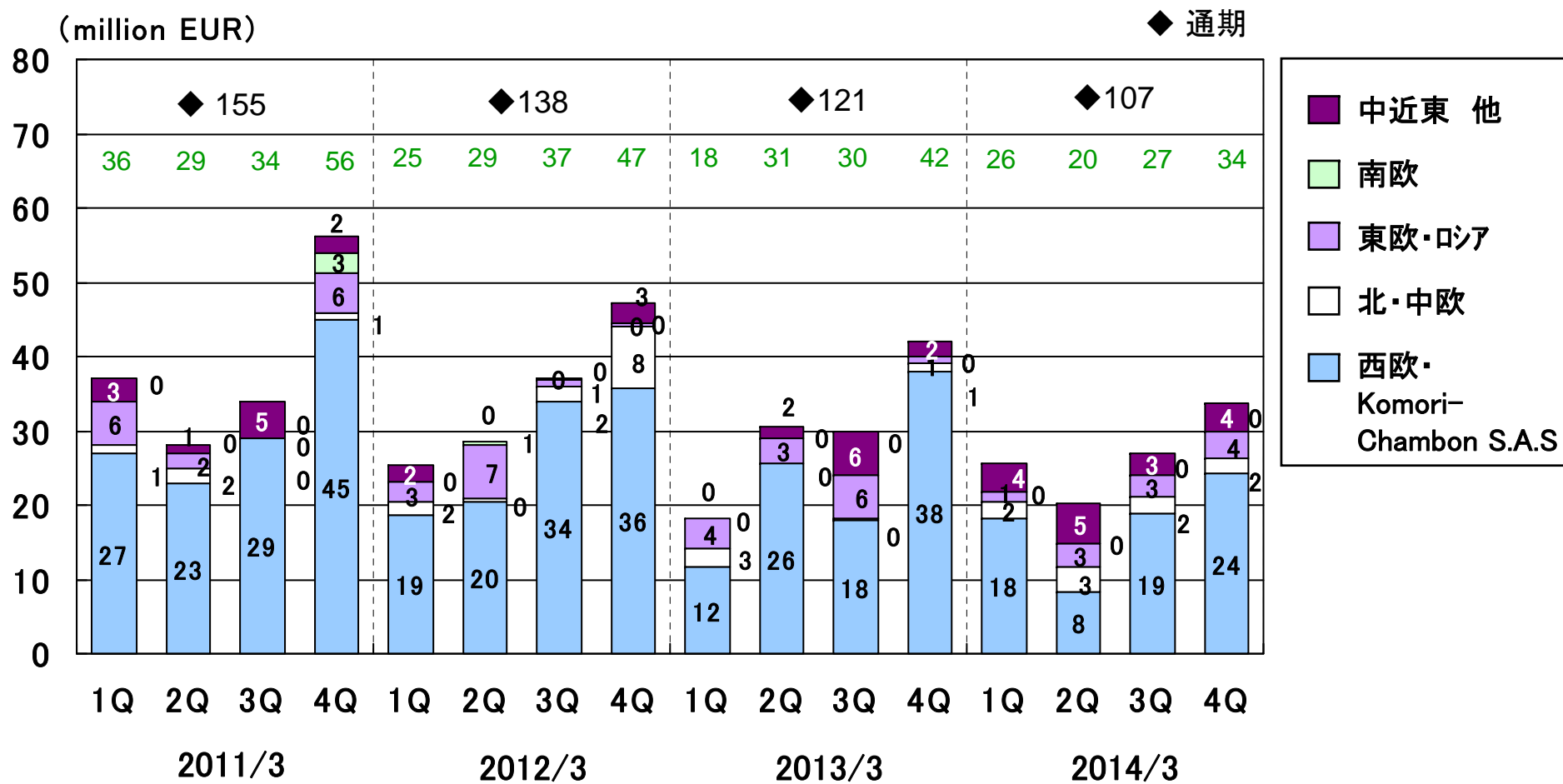
# 北米売上高



# 欧州 受注高



# 欧州 売上高

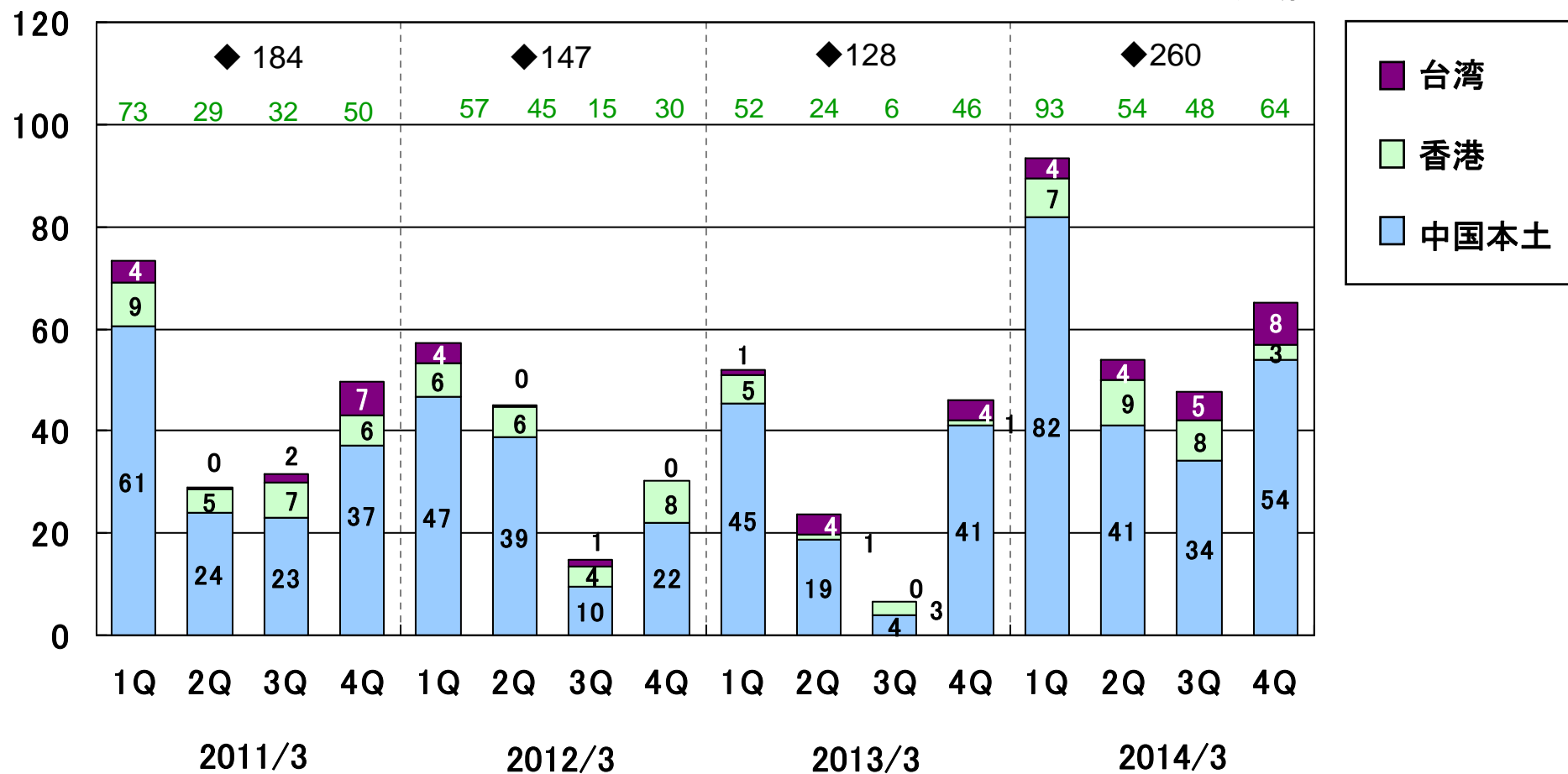




# 中華圏 受注高

(億円)

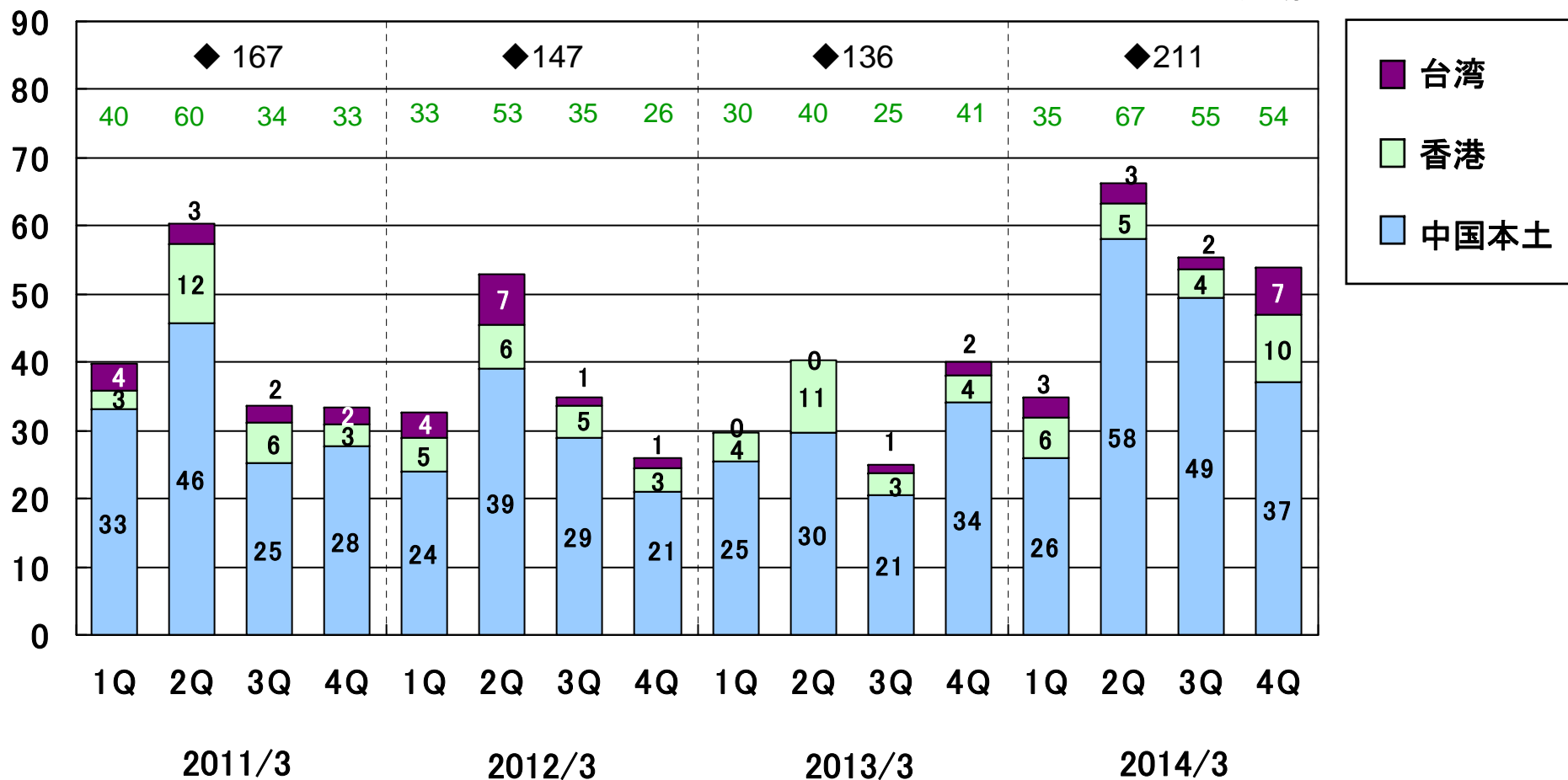
◆ 通期



# 中華圏売上高

(億円)

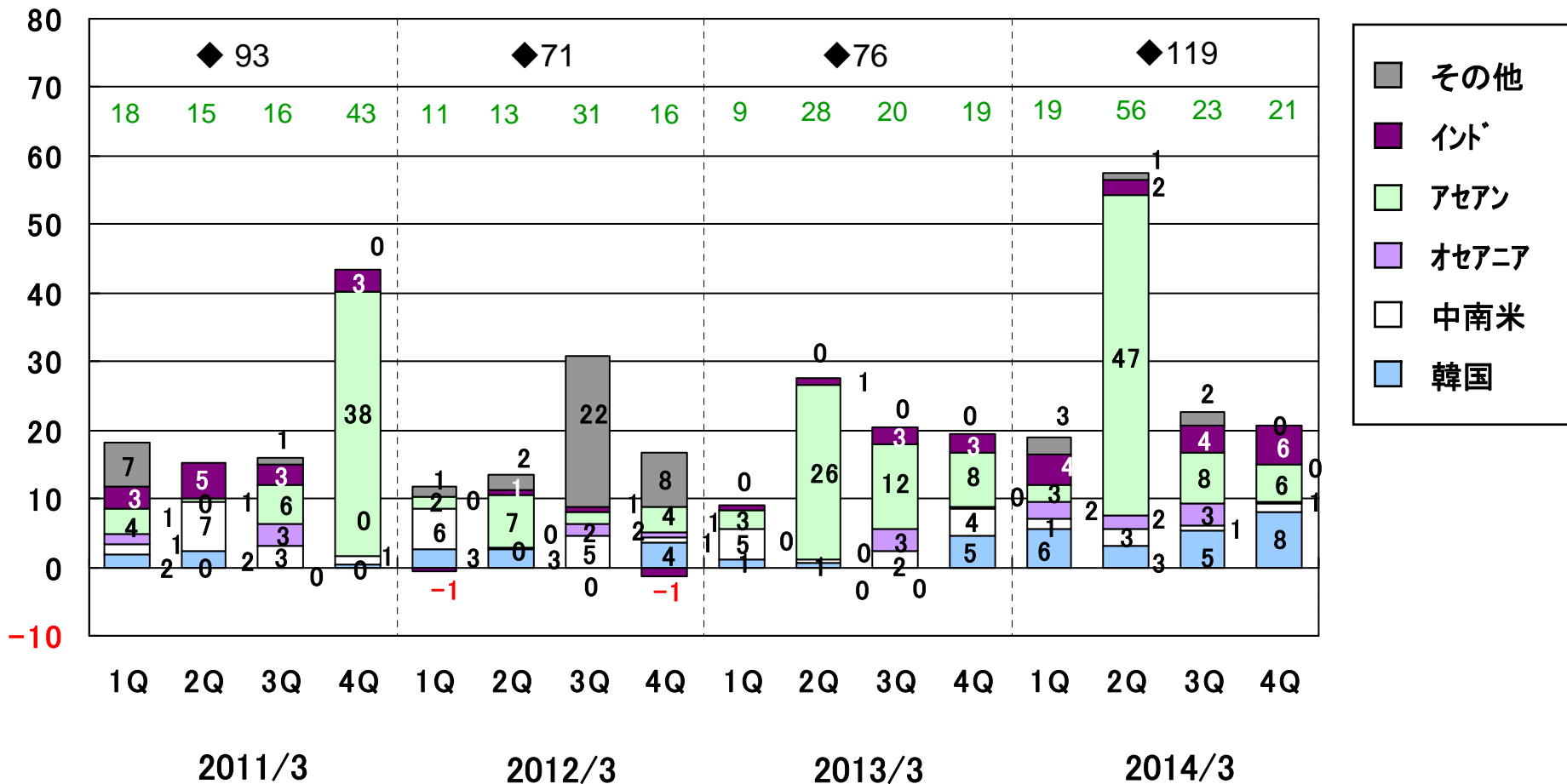
◆ 通期



# その他地域 受注高

(億円)

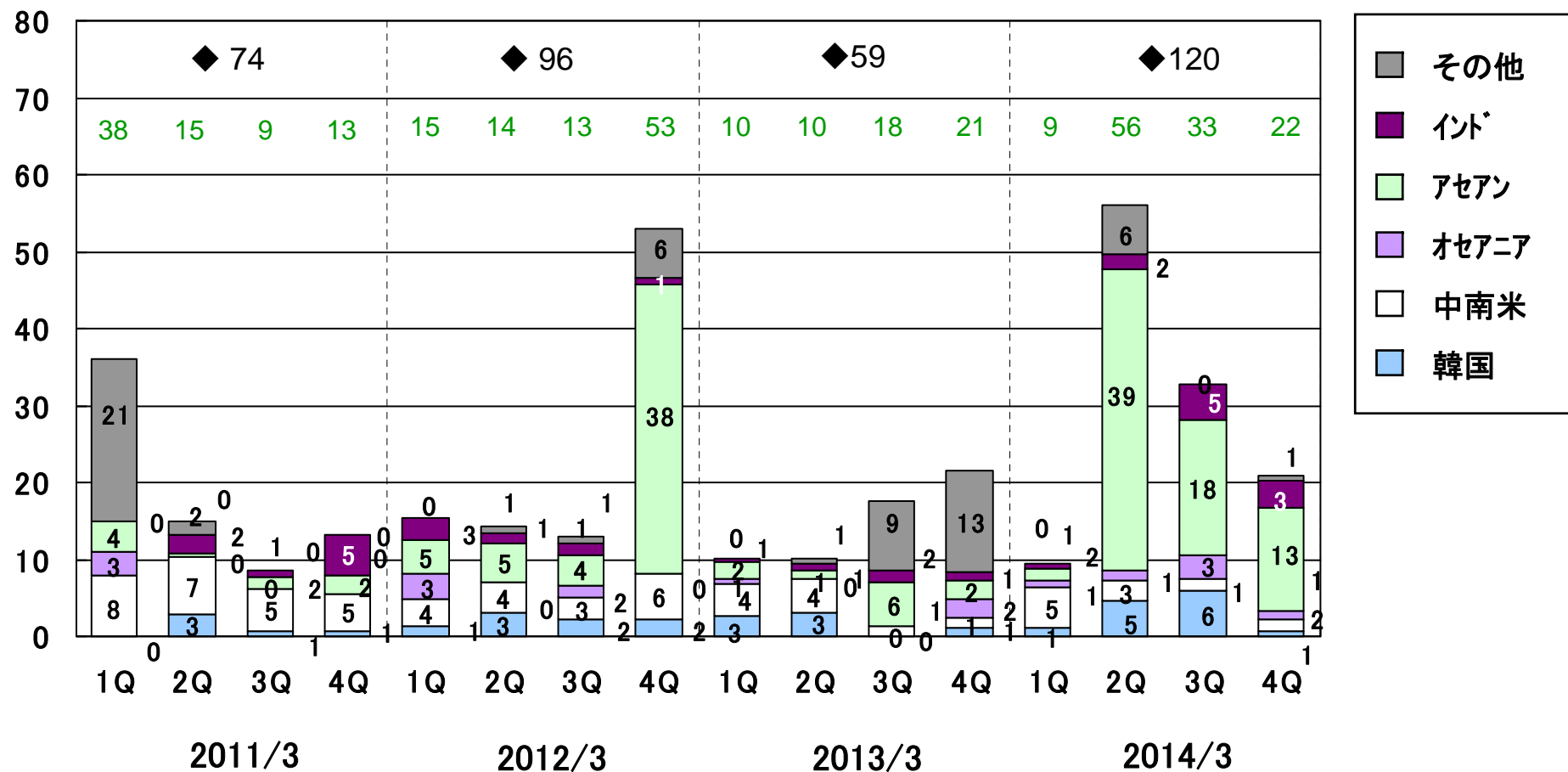
◆ 通期



# その他地域 売上高

(億円)

◆ 通期





- ※ 当資料に含まれている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- ※ 当資料では、表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。

## 中期経営計画の進捗状況と今後の計画



2014年 5月13日

株式会社 小森コーポレーション

# 第Ⅳ期中期計画の概要

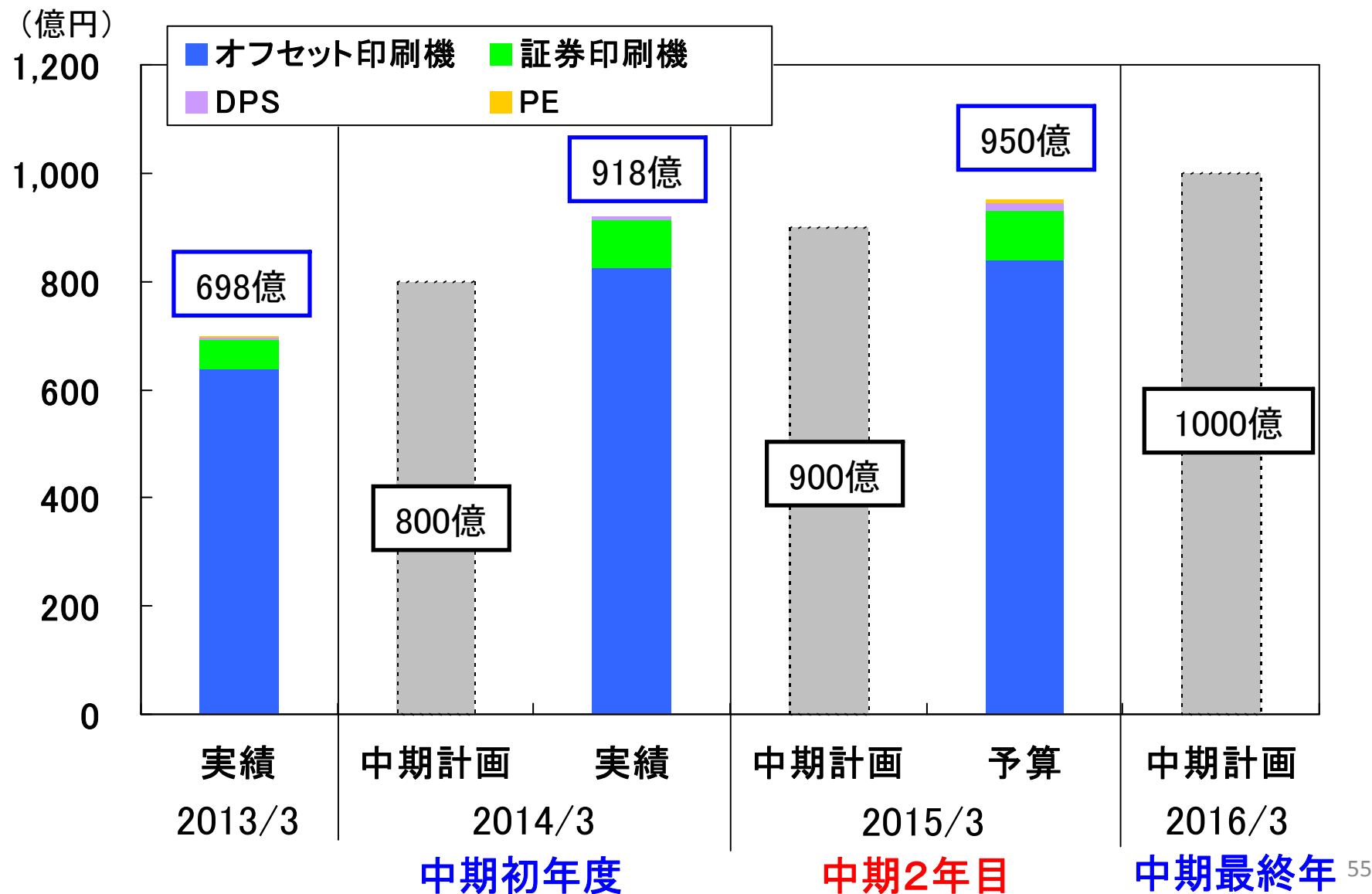
## 事業構造変革と営業業態変革

〈内数〉: 前期の実績

FY70 売上目標 <b>1,000億円</b> FY70 営業利益 <b>80億円(8%)</b>		製品(事業や技術等)の領域			
		既存製品		新規製品	
市場領域	既存市場	<b>①オフセット印刷機事業</b> (中核事業) *売上目標 2013/3 639億円 <b>2014/3 &lt;824億円&gt;</b> ⇒2016/3 720億円		<b>③DPS事業</b> (新商品開発戦略) *売上目標 2013/3 5億円 <b>2014/3 &lt;5億円&gt;</b> ⇒2016/3 110億円	
		<b>72.0%</b> 	<b>PESP事業</b> (業態変革) *売上目標 2016/3 100億円 <b>2014/3 &lt;86億円&gt;</b> (※各事業売上を含む)		 <b>11.0%</b>
	新規市場	<b>14.0%</b> 		 <b>3.0%</b>	
		*売上目標 2013/3 53億円 <b>2014/3 &lt;89億円&gt;</b> ⇒2016/3 140億円 <b>②証券印刷機事業</b> (市場開拓戦略)		*売上目標 2013/3 0.5億円 <b>2014/3 &lt;0.5億円&gt;</b> ⇒2016/3 30億円 <b>④PE・精密機器事業</b> (多角化戦略)	

# 第Ⅳ期中期計画の進捗状況

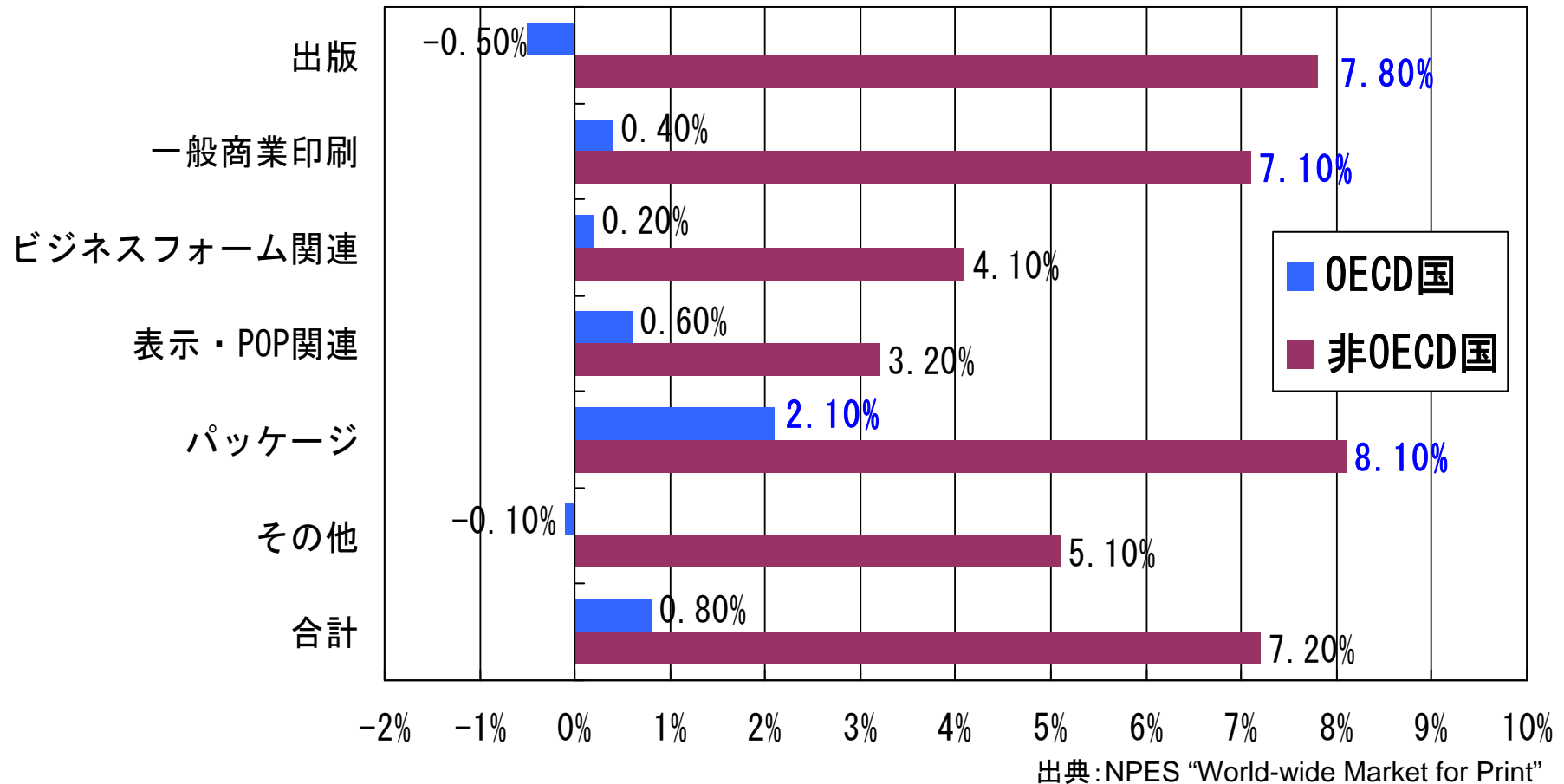
## 中期計画期間内の業績予測





## FY69 (2015/3期)の事業環境

## 世界印刷市場 カテゴリー別成長率(2012～2017)



### 【主要成長カテゴリー】

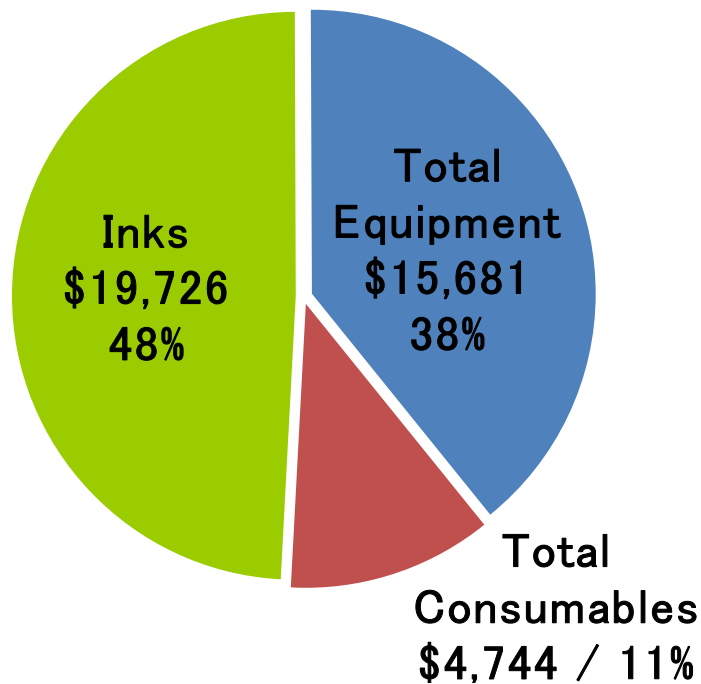
OECD国: パッケージ印刷

非OECD国: 出版印刷、商業印刷、パッケージ印刷

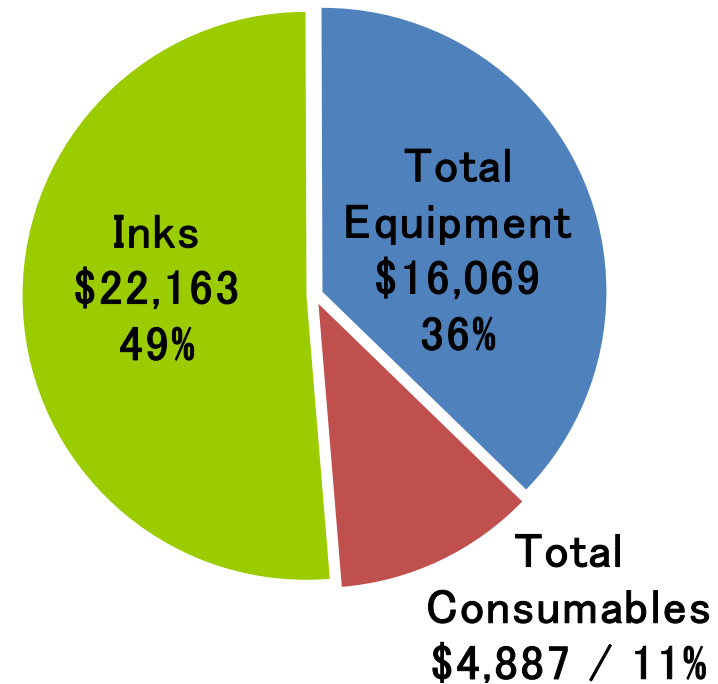
## 世界印刷機器、資材市場動向(2012~2017)

(単位:US\$ millions)

2012年Total: \$40,151



2017年Total: \$43,119

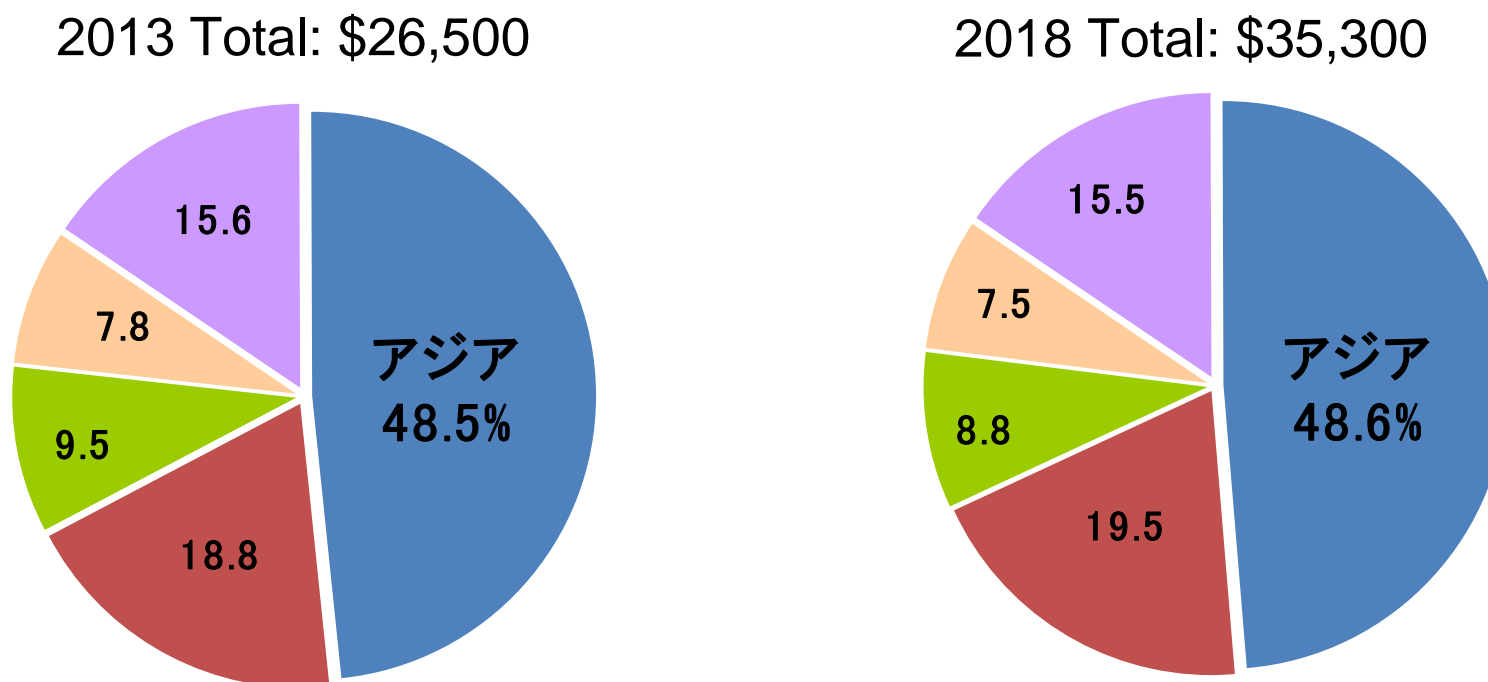


出典:NPES "World-wide Market for Print"

2012年~2017年の世界印刷機器、資材市場成長率  
合計: 7.4%(機器 2.5% / 消耗品 3% / インキ 12.4%)

## 世界証券印刷市場動向(2013～2018)

(単位:US\$ millions)



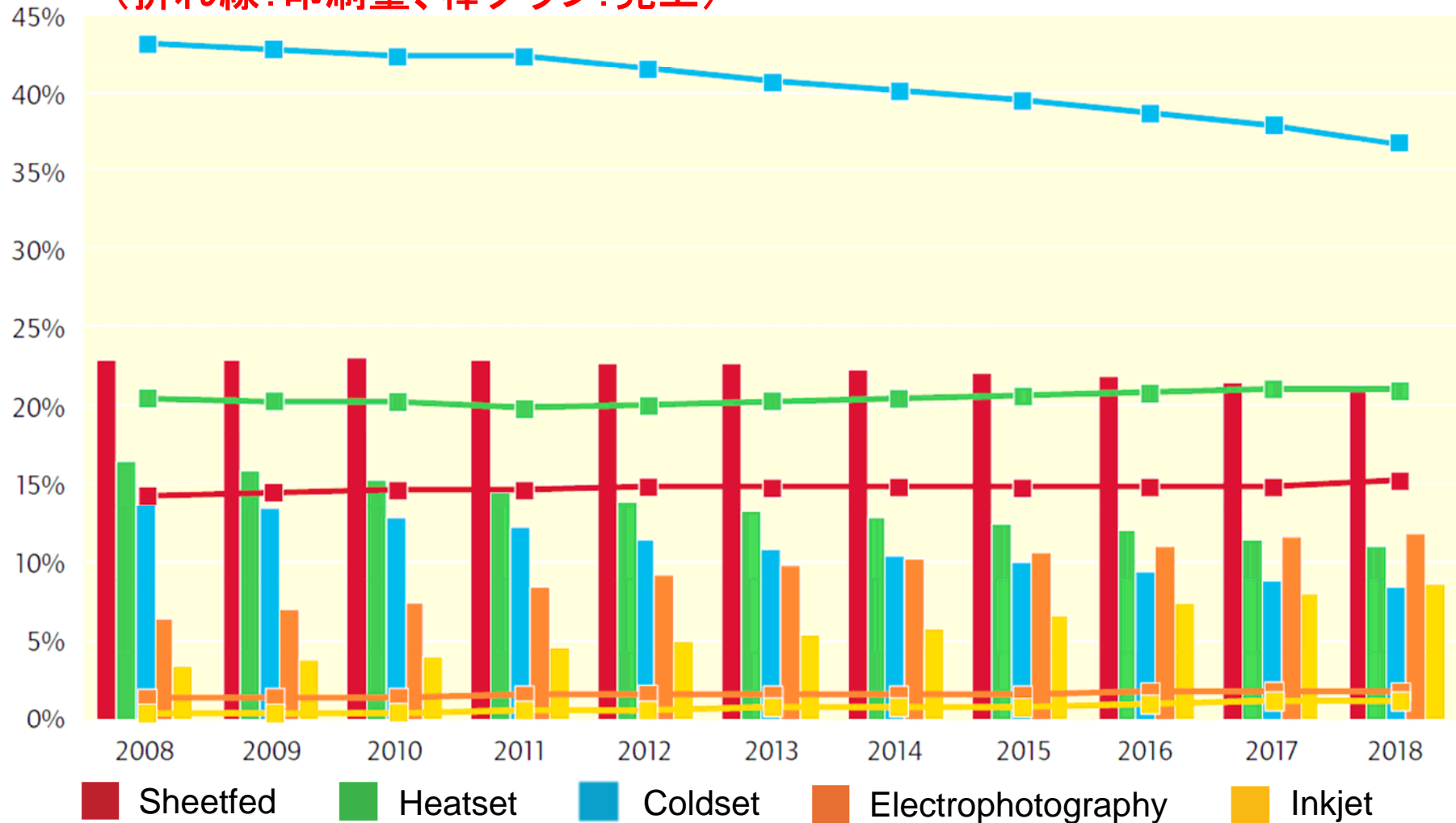
出典: Smithers PIRA "The Future of Global Security Printing to 2018"

**2013年～2018年の世界証券印刷市場成長率**

**CAGR(年平均成長率): 5.9%**

## 全印刷市場におけるオフセット、デジタルのシェア推移

(折れ線:印刷量、棒グラフ:売上)



# 事業環境 まとめ

- 印刷市場は、先進国はパッケージ印刷を除き成長は停滞するが、新興国は拡大する。結果として、印刷市場全体としては拡大を続ける。
- 今後、オフセット輪転機の全体の印刷量、売上は大きく減少していくが、当面は、オフセット枚葉機に関しては印刷量、売上に大きな変化はない。
- 生産性・コストの問題からオフセット、デジタルを組み合わせた生産体制が効率的で利益を生み出すという認識が広がっている
- デジタル印刷市場は、(当初の予想からは遅れているが)今後大きく成長する見込み(Landa機等の新技術が市場拡大の鍵と推定する)

当面は、既存事業での売上拡大、収益確保が可能  
デジタル機の市場投入とオフセットとの融合により更なる売上拡大へ

- 証券印刷市場も同様に新興国(特にアジア)を中心に拡大を続けている

海外証券印刷機事業(アジア諸国の入札)での売上拡大が可能

- 上記市場の成長に伴い、印刷機器、資材市場も拡大する見込み

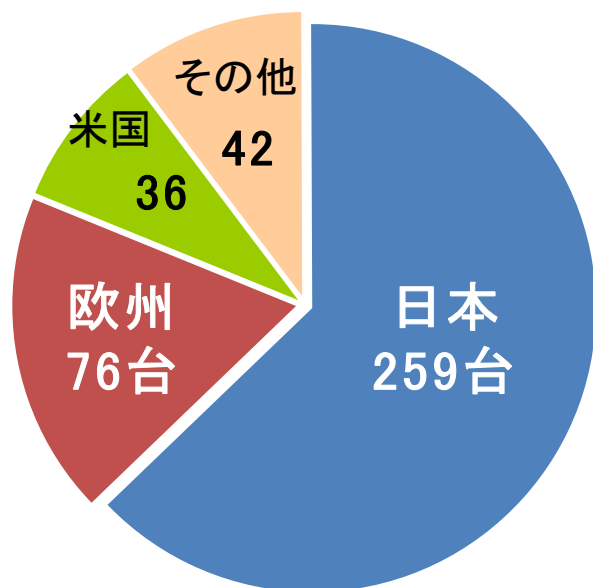
PESP事業における印刷関連機器、資材・消耗品販売による売上拡大へ

# FY69(2015/3 期)の主要事業戦略

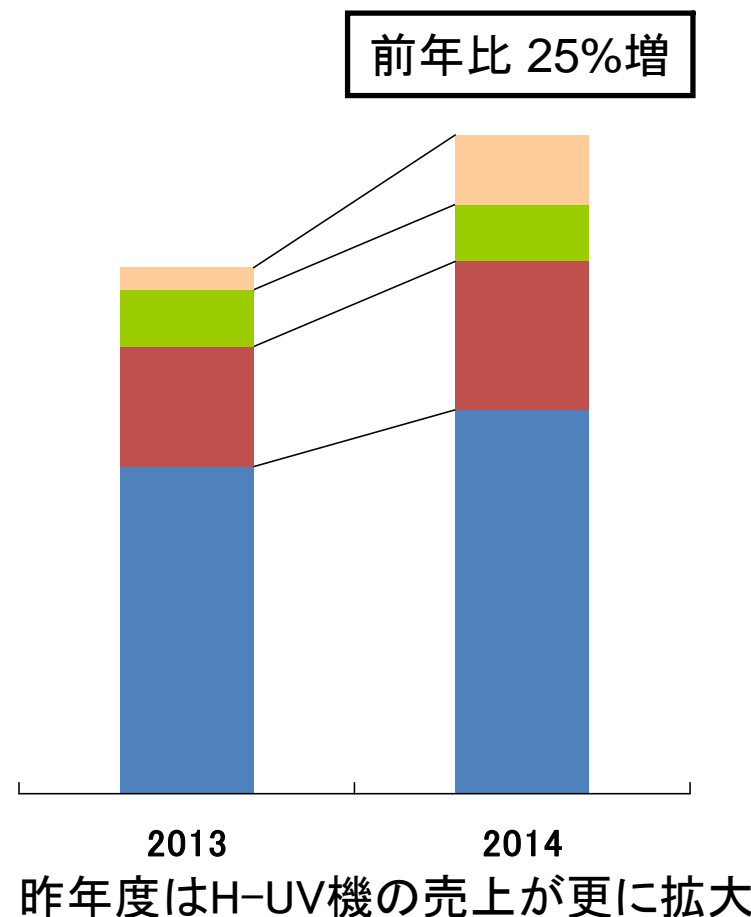
## 先進国（日本/欧米）における拡販戦略

### ■ H-UV機の更なる拡販

H-UV機販売状況（～2014/3/31）



Total: 413台（4年間）



今後は枚葉だけでなく、H-UV輪転機もラインアップに加え、  
先進国を中心に更なるH-UVの拡販を進める



## 先進国(日本/欧米)における拡販戦略

### ■ パッケージ専用機の開発

パッケージ向け厚紙専用機: Lithrone GX40

紙粉・特色・厚紙対応等のパッケージ印刷における課題を対策し、  
大幅な準備・稼働時間の短縮を実現

新製品



#### Lithrone GX40の特徴

18,000sphの高速印刷

KHS-AIによる準備時間の大幅削減

紙粉対策、特色/UV対応、

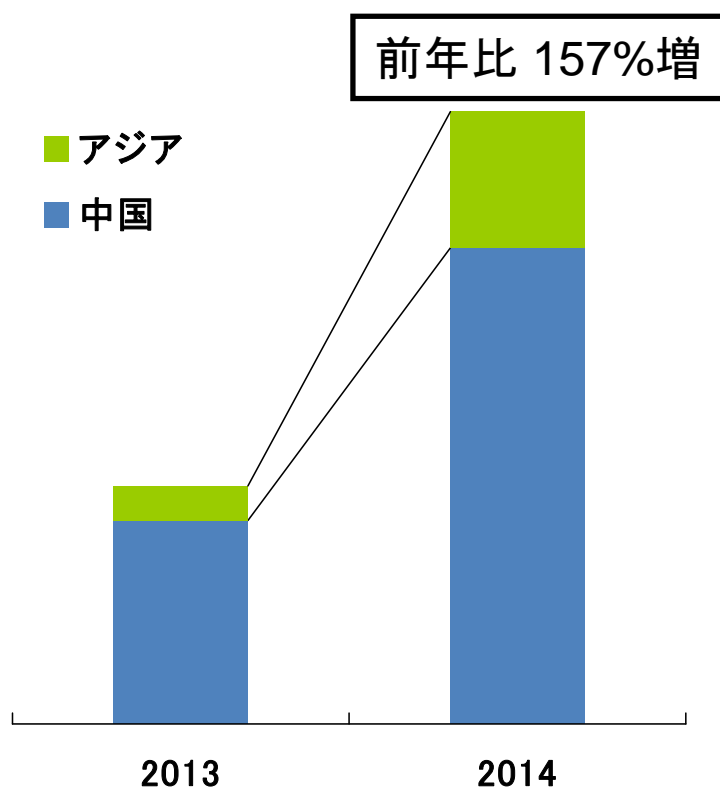
厚紙・パッケージ対応 各仕様の搭載

現在も成長を続けるパッケージ市場での売上拡大を目指す

## 新興国（中国/アジア）における拡販戦略

### ■ Lithrone A37の更なる拡販

LA-37（中国/アジア）販売状況



### LA-37の新興国市場における競争力

競合メーカーの低価格製品に  
対抗できる価格設定 / 仕様構成

高いコストパフォーマンス  
（省電力、刷版コスト削減）

省スペースの菊全対応機



新興国市場のニーズにあった戦略機種による拡販の実行

## 新興国（中国）における拡販戦略

### ■ Lithrone G44（中国向）の開発

中国にて成長を続けるWeb to Print（合版印刷=ギャングラン）  
⇒中国の仕上がりサイズにおいて、効率的な面付けが可能な  
44インチの機械への需要が非常に高い



新製品

中国向け**44インチ機**の投入により、  
中国市場の更なる開拓を進める

## 新興国(ASEAN地域)における拡販戦略

### ■ シンガポール販売代理店 Kmlink社 の買収

- シンガポール、マレーシア両国の直販/販売拡大
- ASEAN市場を重点期待市場として販売サービス力を強化  
(最適販売戦略の実行、サービスバックアップ力向上)
- 既存ビジネスだけでなく、デジタル、PESP事業等新規事業を  
ASEAN地域で強力に推進する体制を構築する

今後拡大する新興国市場にて、売上拡大を目指す

## 近年の海外受注実績(過去2年間)

### 【2013/3期】

6月	中国	両面オフセット印刷機x2
	タイ	番号印刷機
9月	フィリピン	1ライン受注(第2ライン)
10月	ドイツ(G&D)	両面コーター印刷機
11月	ベトナム	凹版印刷機
3月	中国	両面オフセット印刷機

### 【2014/3期】

5月	英国(DLR)	オフセット印刷機
7月	インドネシア	1ライン受注(第1ライン)
10月	インドネシア	オフセット印刷機
11月	英国(DLR)	両面コーター印刷機
3月	タイ	検査専用機

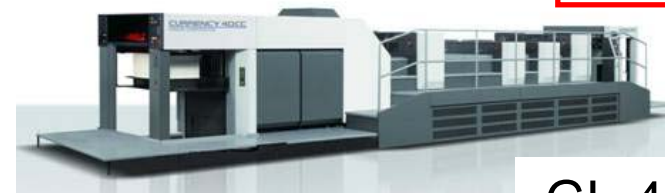
### ➤戦略商品の開発実行



LC-1232

新製品

- 銀行券印刷に特化したダブルデッキタイプ両面オフセット印刷機
- 銀行券デザインの多色化に貢献



GL-40CC

新製品

- 世界の2大プライベート銀行券プリンター(DeLaRue、G&D)に採用
- ユーロ紙幣等の両面コーティングを行う



新製品

Impremia IS29

## IS29の競合優位性

- オフセットと同様な高品質印刷
- 専用紙、プリコート不要
- 薄紙～エンボス紙まで印刷可能
- 両面印刷が可能
- 速乾＝即後加工が可能

⇒2014年中に量産化予定

新製品



LANDA

⇒2015年中に量産化予定



K-Color Simulator

- オフセット、デジタルの色合わせが簡単にできる



K-Station

- オフセット、デジタルで連携した

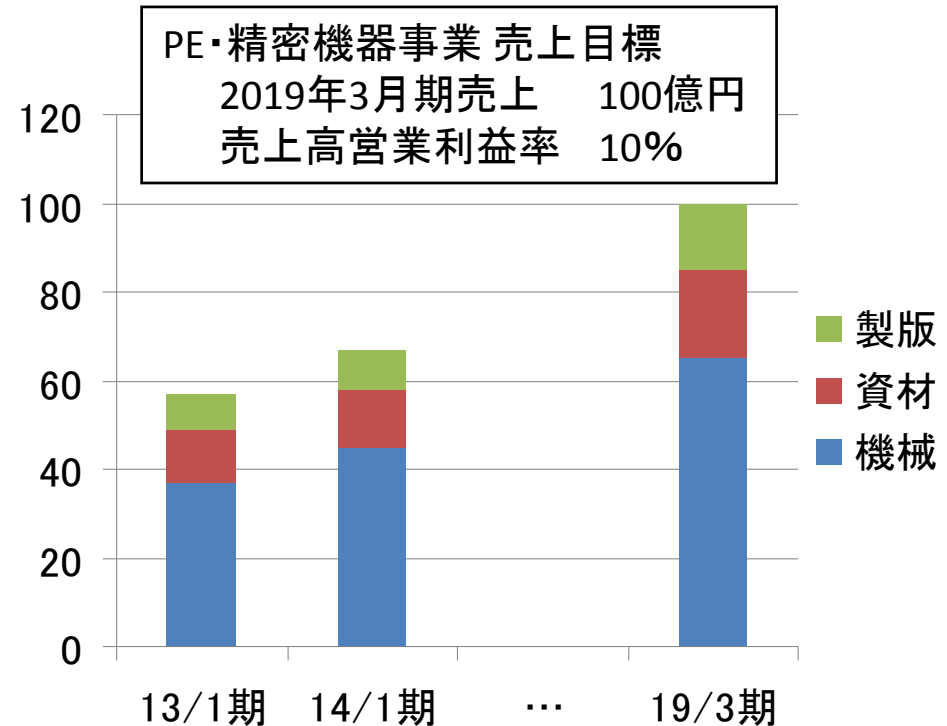
工程管理が可能

当社の強みとなるオフセットとデジタルの融合した  
生産システムの提案により、更なる収益を拡大を目指す

## 東海ホールディングス(株)の100%子会社化

東海ホールディングスが持つエレクトロニクス業界での有力な販路と小森の開発力を融合させPE・精密機器事業の早期事業化を達成

- グラビアオフセット印刷機 (PEPIO-F20) の早期市場投入
- スクリーン印刷機及び関連機材・資材の更なる拡販(東海HD)



※旧東海ホールディングスは未上場企業のため、監査法人の監査等を受けておりません。

## PESP商品の拡充とソリューションビジネスによる拡販

### ■ K-Supply 資材・消耗品（インキ、ローラー、洗浄布、等）

- ・H-UVインキの販売開始  
（KGCのH-UV開発ノウハウを生かしたインキを開発）

新製品

⇒ 顧客：変動費に占める割合の高いインキコストの削減  
小森：継続的かつ安定的なキャッシュフローを創出

### ■ 関連機材/OEM商品開発（POD、Prepress/Postpress等）

### ■ PMサービスの推進（各種レトロフィット、計画工事）

- ・機械稼働データより、費用対効果を明確にした稼働改善/レトロフィット提案  
（小森の強み「KHS-AI」を生かしたソリューション提案の実行）

⇒ 小森、顧客双方の生産性を向上させ、利益を創出

顧客課題に対し、各商品を組み合わせた  
ソリューション提案を実施



## ■ モノづくり革新活動

- ①魅力的な商品開発の実行 / 差別化要素技術開発の推進
- ②CSアンケートによる顧客要求の把握、開発への展開、知覚品質管理徹底
- ③モジュール・部品の共通化設計による製造原価低減 / 品質安定化

## ■ コスト競争力の強化

- ①KNT(小森機械南通有限公司)の操業開始(2014/3~)  
フィーダーASSY生産開始、同時に海外調達も拡大も実施
- ②SGA20活動の推進  
2014年3月期、単体にてSGA20達成(19.4%)

## ■ ICTの活用による業務遂行能力の向上

- ①営業業態変革への対応 / 業務遂行能力向上  
ソリューションビジネスに対応した営業、サービスシステムの抜本見直し
- ②新BOM設計システムの構築

## ■ グローバル人材育成と人事制度変革の実行

**KOMORI**  
KOMORI CORPORATION

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

なお、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願い致します。